

操作盤 品番 YKX42305, YKX42320, YKX42321

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。



施工説明

工事店様へ この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は施工説明書にしたがい、確実にを行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)・周波数以外の電源で使用しない。火災の原因となります。

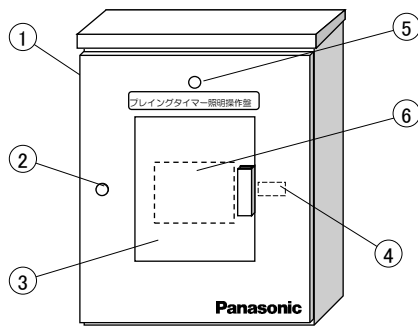
注意

- 一般屋外・一般屋内用です。湿気が多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所、塵埃が多い場所、塩害地域では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度0℃～40℃・相対湿度35%～85%以外で使用しないでください。誤動作の原因となります。

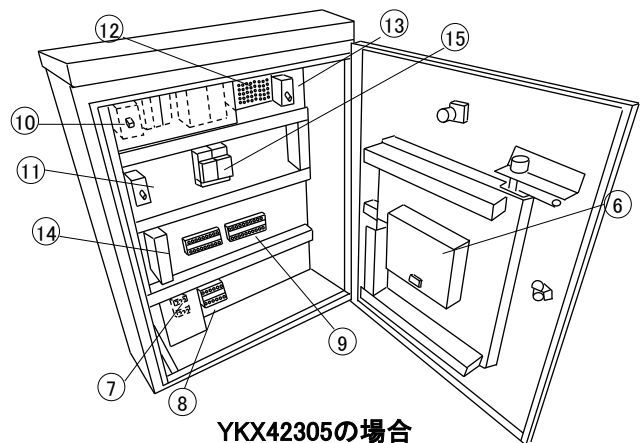
目次

仕様		管理者モード			
1	各部の名称と説明	2	16	時計設定	22
2	機能	3	17	システム設定	23
3	本体図	4	18	運用設定	40
4	定格	4	19	SDカード取出	54
5	設置場所	4	20	強制操作	55
6	付属品	4	21	短縮設定	57
7	別注文品	4	22	操作履歴	58
8	入出力信号	5	運用データ		
9	ブロック回路図	5	23	管理ツール	59
手順			24	利用者番号管理	62
10	運用開始までの手順とチェックリスト	6	25	プリペイド利用番号管理	66
施工			26	利用履歴管理	73
11	出荷時設定	7	27	パターン名称管理	76
12	設置工事	13	28	SDカード作成	77
13	動作確認	14	メンテナンス		
利用者モード			29	異常時の処置(エラーコード表)	78
14	点灯・消灯操作 (利用時間枠・ポイント・番号固定方式)	16	30	タッチパネルについて	81
15	点灯・消灯操作 (プリペイド方式)	19	31	停電時の扱い	81
			32	使用期間中における部品交換の必要性	81
			33	保証について	81

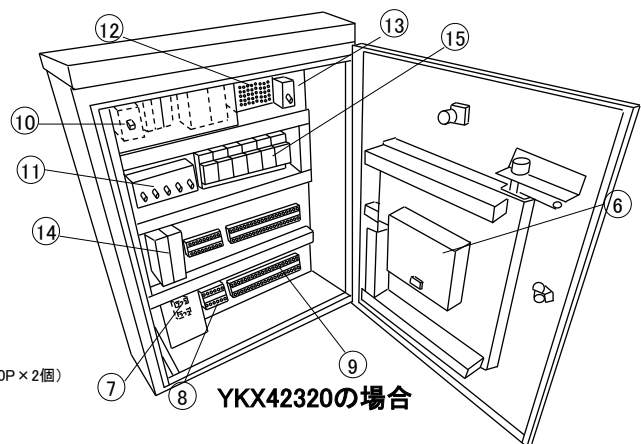
1 各部の名称と説明



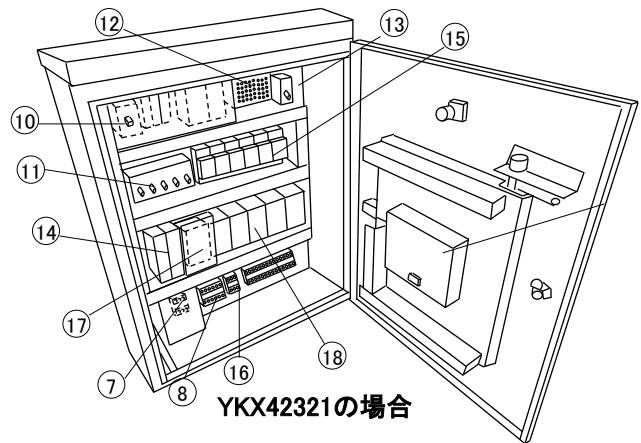
- ① 管理扉
- ② 管理扉錠
- ③ 操作扉
- ④ 操作扉ロックソレノイド
この扉を開き、点灯・消灯などの各種操作を行います。
手を離すと、自動で扉が閉まります。
- ⑤ 操作可能表示部
- ⑥ 操作部タッチパネル
管理者扉を開けて、SDカードの抜き差しを行います。



YKX42305の場合



YKX42320の場合



YKX42321の場合

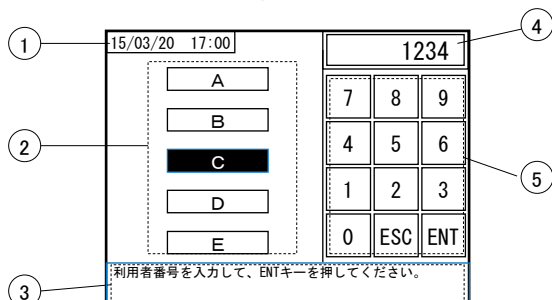
- ⑦ 電源入力端子台 (3P)
- ⑧ 連動信号入出力端子台 (7P)
操作盤を2~4面連動する場合に使用します。
操作盤を連動する場合は、操作盤の加工が必要となります。
- ⑨ 照明制御信号出力端子台 (YKX42305: 10P×1個, YKX42320: 20P×2個)
無電圧a接点回路を出力します。
- ⑩ 受電プレーカ (漏電検知機能付き)
- ⑪ 強制点灯スイッチ (YKX42305: 1個, YKX42320, YKX42321: 5個)
システム異常時にスイッチを[ON]にすると、出力4回路ごとに全回路を強制出力します。(注: YKX42305の回路5は強制操作できません)
- ⑫ 直流電源 (DC24V)
- ⑬ 管理者モード切替スイッチ
利用者モード・管理者モードの切替えを行う場合に使用します。
- ⑭ 制御ブロック
- ⑮ リレーブロック (YKX42305: 2個, YKX42320, YKX42321: 6個)
照明制御信号の出力部です。
LEDモニターランプにより、出力状態を確認できます。

以下はYKX42321のみ

- ⑯ フル2線信号出力端子台 (3P・極性なし)
- ⑰ リモコントランス(AC24V)
- ⑱ フル2線接点入力T/U (5個)

■操作部タッチパネル詳細(操作扉内)

(例)照明5パターンの利用者操作画面



- ① 時計表示 (年年/月月/日日 時時:分分)
年年は西暦の下二けたを表示します。
- ② 照明パターン表示 操作手順の表示部です。
(点灯中のパターンが白文字表示(例)パターンC)
- ③ 操作方法案内およびエラー表示
利用者番号・暗証番号・利用時間の入力部です。
- ④ 利用者番号表示
入力された番号を表示します。最大8桁
- ⑤ 操作入力ボタン
利用者番号などの入力を行います。

2 機能

利用者(通常)モード

■ 操作扉ロック

操作盤で設定された『操作可能時間帯』のときのみロックを解除し、操作扉を開閉可能にします。
深夜等に操作扉をロックすることで、操作扉内へのいたづらを防止します。

■ 利用者認証

タッチパネルに入力された利用者番号で利用者の認証を行い、登録された照明パターンの点灯を行いますのでいたづらを防ぐことが可能になります。

■ 各種表示

現在時刻表示：現在時刻を表示部に表示します。(24時間式表示)

管理者モード(管理者モードへの切替は管理扉内の管理者モード切替スイッチで行います。)

■ 時計設定

管理者モードにて、現在時刻および操作可能・点灯可能時間帯の確認・設定が可能です。

■ 強制点灯・消灯

管理者モードにて照明パターンごとに強制点灯・消灯が可能です。

■ 短縮動作

管理者モードにて、順次消灯の動作を短縮して回路動作を確認できます。

点検モード(システムが動作していない時でも使用可能です)

■ 強制点灯スイッチ

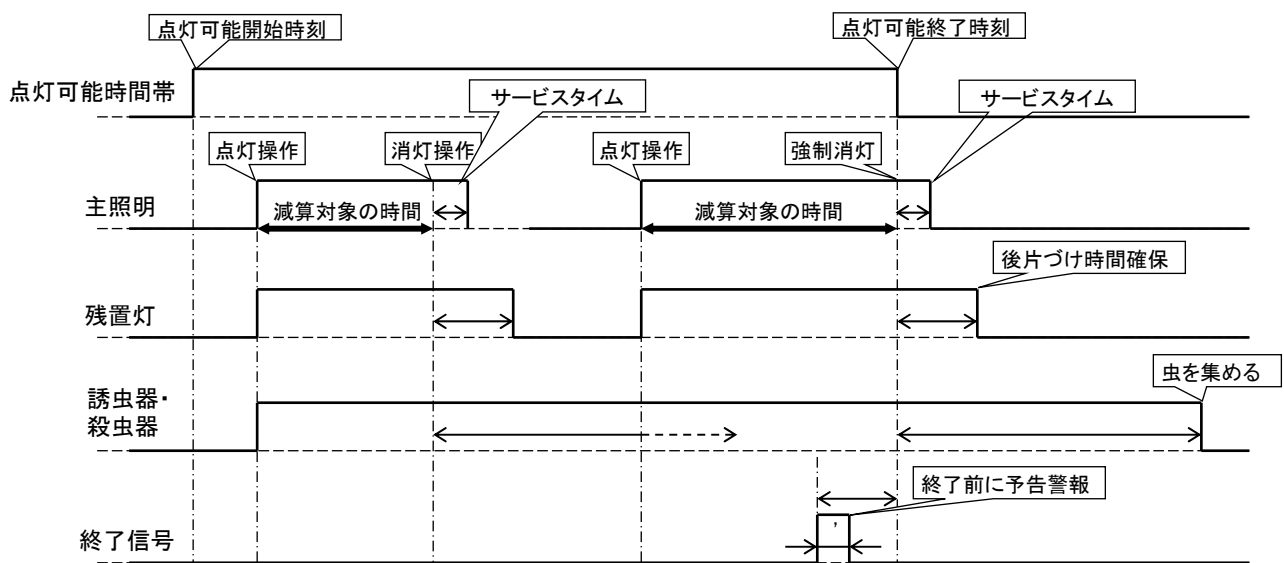
システムに連動しないスイッチ操作で、4回路単位の強制点灯/消灯が可能です。回路の点検にご使用ください。

基本動作

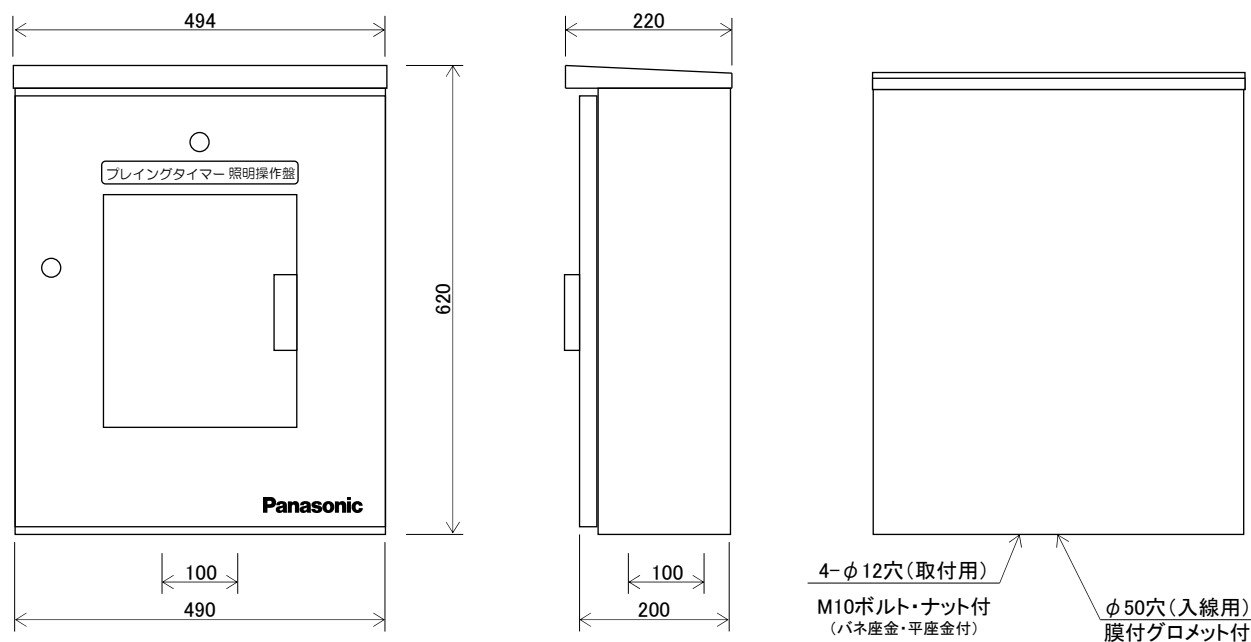
点灯可能時間帯内に利用者モードで点灯操作を行うと、照明パターンを点灯できます。

照明パターンには主照明・残置灯・誘虫器・殺虫器・終了信号が含まれます。

照明パターンが消灯操作または点灯可能終了時刻で消灯されると、設定されているサービスタイムを経て順次消灯されます。



3 本体図



4 定格

項目	YKX42305	YKX42320	YKX42321	備考
電源電圧	AC100/200V	AC100/200V	AC200V	電源変動±6%以内
周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz	共用
入力電力	30W	30W	30W	ご使用の最大値
入力電流	0.5A	0.5A	0.5A	ご使用の最大値
質量	28Kg	30Kg	31Kg	

5 設置場所

- ・一般屋外・屋内共用（防雨型）
- ・周辺温度：0～40℃
- ・相対湿度：35～85%

《ご注意》

コンピュータ制御部品を組み込んでいますので、湿気が多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所、塵埃の多い場所、塩害地域では、ご使用にならないでください。

6 付属品

- ・扉キー：2個
- ・M10ボルト・ナット(バネ座金・平座金付)：4セット
- ・保護シート：10枚

7 別注文品

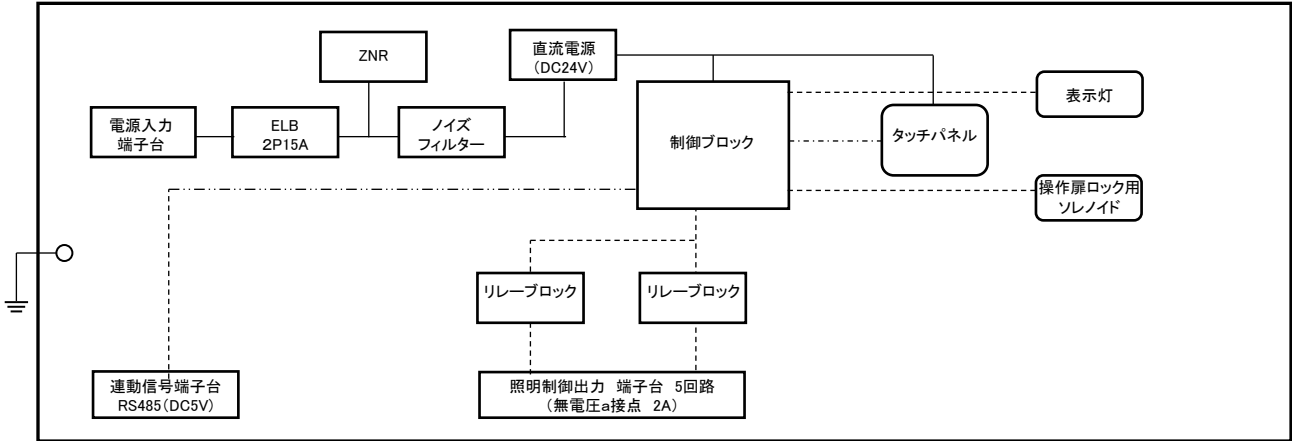
- ・照明設備用の電磁開閉器・ブレーカ・盤・電線管など
- ・照明器具、および、付属品
- ・自立ポール(YKX50002)
- ・アンカーフレーム(YD9920等)

8 入出力信号

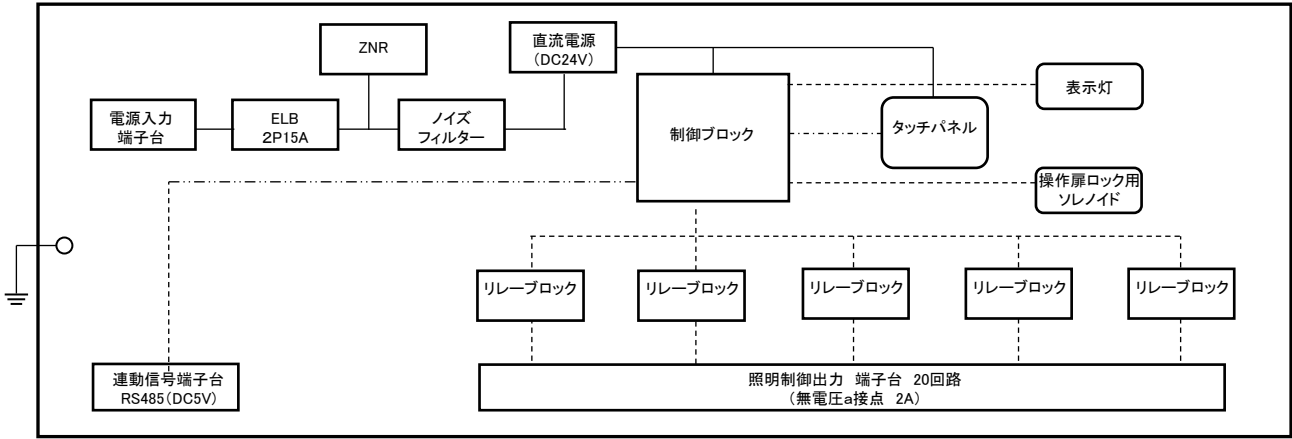
項目	YKX42305	YKX42320	YKX42321	備考
照明制御信号 接点定格	無電圧a接点5回路 AC200V 2A	無電圧a接点20回路 AC200V 2A	無電圧a接点20回路 (フル2接点入力T/Uに接続)	
連動信号用 配線	RS485信号(5V) 電線:FCPEV相当φ1.2 最大配線長:800m 配線方式:送り配線			

9 ブロック回路図

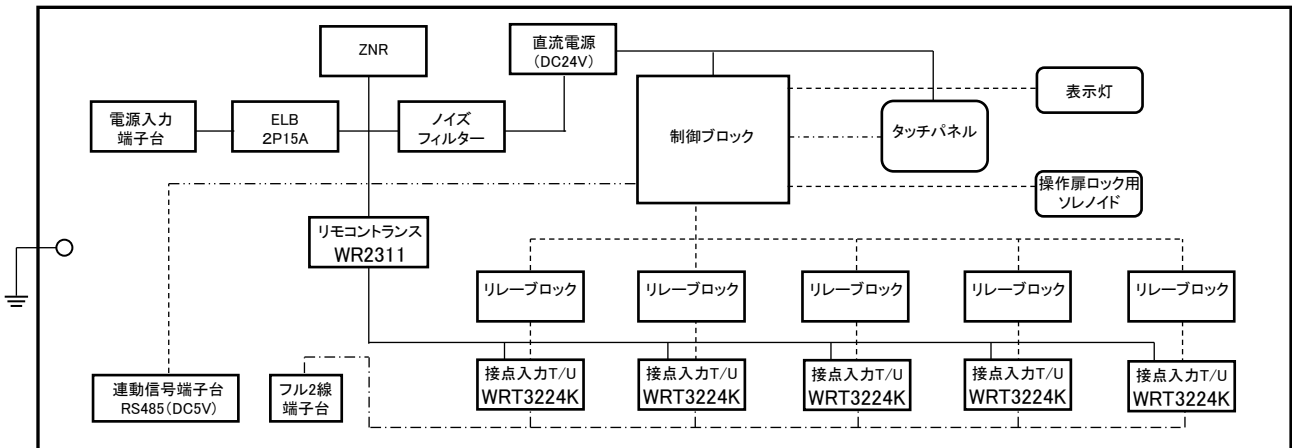
YKX42305



YKX42320



YKX42321



10 運用開始までの手順とチェックリスト

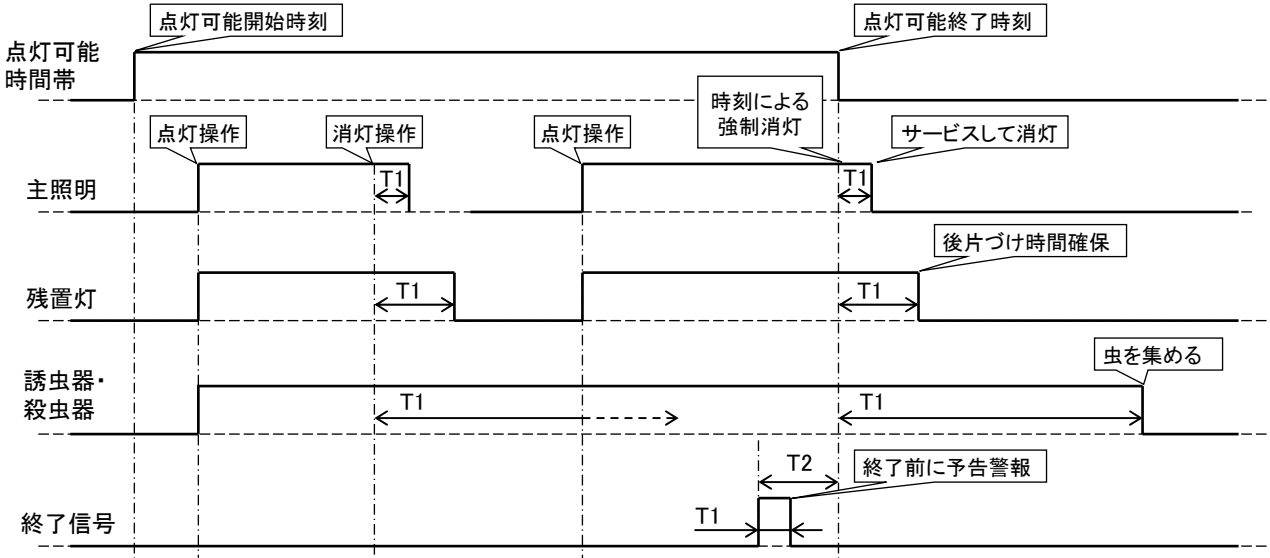
運用開始までの手順を示します。チェックリストとしてご利用ください。

- 1.各部名称と基本機能確認
各部名称および基本機能をご確認ください。
- 2.設置
「12. 設置工事」を参照し操作盤の設置してください。
- 3.出荷設定の確認
「2. 機能」と「11. 出荷時設定」をご確認ください。
- 4.システム設定の変更
出荷設定を変更する場合に使用します。
操作手順は「17. システム設定」をご参照ください。
- 5.出力回路の接続確認
システムに連動しない強制点灯スイッチで4回路単位で回路確認を行います。
- 6.動作確認
短縮モードにて強制点灯/消灯を行い、回路単位での確認を行います。
ただし、強制消灯では終了信号は出力されません。
操作手順は「13. 動作確認」をご参照ください。
- 7.運用方法の決定
利用者に照明を貸し出す方法を決定します。
操作手順は「18. 運用設定」をご参照ください。
また、運用設定の変更後はSDカードにシステム情報の読出をして設定の保存をしてください。
(プリペイド方式で運用する場合は、プリペイド情報の読出もしてください。)
- 8.管理ツールの設定
利用者番号を確認するツールをPCにインストールします。
操作手順は「23. 管理ツール」をご参照ください。
- 9.時刻の設定
現在時刻に設定してください。準備は終了です。
- 10.運用開始
利用者番号による運用が開始できます。

11 出荷時設定

出荷時は以下の設定になっています。設定内容を変更する場合は、システム設定(23ページ)をご覧ください。

《照明制御タイムチャート》



【操作・点灯可能時間設定】

点灯・操作可能時間設定							
期間	開始日	使用／不使用	操作可能時間		点灯可能時間		誘・殺虫器
			開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻	
1	1月 1日	使用	16:00	22:00	16:00	22:00	ON
2	4月 1日	使用	16:00	22:00	16:00	22:00	ON
3	7月 1日	使用	16:00	22:00	16:00	22:00	ON
4	10月 1日	使用	16:00	22:00	16:00	22:00	ON

設定変更の操作手順
操作手順通りに設定画面まで進み
設定値を変更してください。

- 管理者モード
- システム設定
- 手動設定
- 操作/点灯可能時間設定

タッチパネルの操作手順を表しています

【サービスタイム設定】

項目		設定1	設定2	短縮
主照明	T1	000500	001000	000100
残置灯	T1	001000	002000	000200
誘・殺虫器	T1	010000	003000	000300
終了信号	T1	000500	000500	000030
	T2	000500	000300	000100

- 管理者モード
- システム設定
- 手動設定
- 各出力動作設定
- サービス時間設定

11 出荷時設定(つづき)

YKX42320・YKX42321の設定

設定変更の操作手順

【照明パターン名称・連動動作設定】

操作手順通りに設定画面まで進み設定値を変更してください。

回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出力動作	主	残	虫	終	主	残	虫	終	主	残	虫	終	主	残	虫	終	主	残	虫	終
A	○	○	○	○																
B					○	○	○	○												
C									○	○	○	○								
D													○	○	○	○				
E																	○	○	○	○

主:主照明 残:残置照明 虫:誘虫器・殺虫器 終:終了信号 空白:設定なし

管理者モード
→システム設定
→手動設定
→各出力動作設定

管理者モード
→システム設定
→手動設定
→パターン名称 連動動作設定
→出力選択

管理者モード
→システム設定
→手動設定
→パターン名称 連動動作設定
→名称選択

【照明パターン同時成立制限設定】

		パターン				
		A	B	C	D	E
パターン (実行中)	A	●				
	B		●			
	C			●		
	D				●	
	E					●

●:同時成立禁止

管理者モード
→システム設定
→手動設定
→パターン同時成立制限設定

YKX42305の設定

(設定変更はYKX42320の設定をご参照ください)

【照明パターン名称・連動動作設定】

回路番号	1	2	3	4	5
出力動作	主	主	残	虫	終
A	○	○	○	○	○

【照明パターン同時成立制限設定】

		パターン
		A
パターン (実行中)	A	●

11 出荷時設定(つづき)

設定変更の操作手順

操作手順通りに設定画面まで進み設定値を変更してください。

【先行入力可否設定】

	選択
先行入力	可 <input type="checkbox"/> 否 <input checked="" type="checkbox"/>

管理者モード
 →システム設定
 →手動設定
 →先行入力可否設定

【装置設定】

リンク使用台数	0
ユニットNo	1
出力点数	20
Web連動	0
設置日	15年01月01日
自動画面切替時間	01分

管理者モード
 →システム設定
 →手動設定
 →装置設定

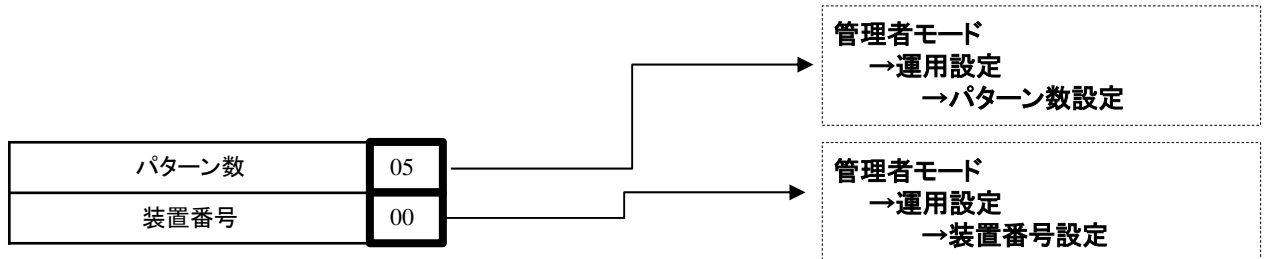
11 出荷時設定(つづき)

【運用方式】

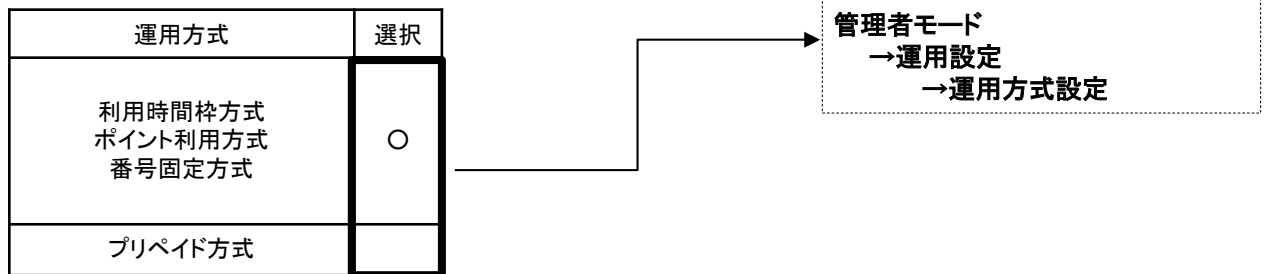
設定変更の操作手順

(利用時間枠方式・ポイント利用方式・番号固定方式)

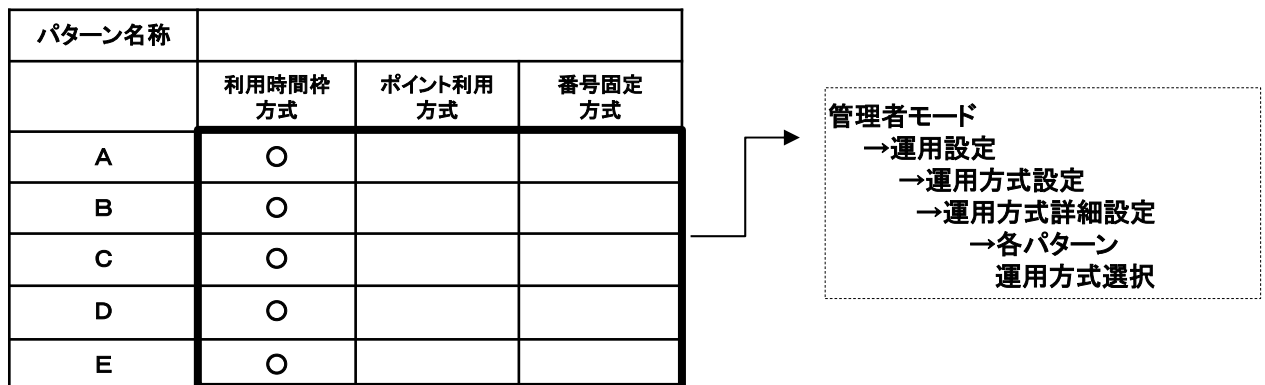
操作手順通りに設定画面まで進み設定値を変更してください。



【運用方式設定】



【各パターン運用方式選択】



11 出荷時設定(つづき)

【時間枠・ポイント方式設定】

設定変更の操作手順
 (利用時間枠方式・ポイント利用方式・番号固定方式)
 操作手順通りに設定画面まで進み設定値を変更してください。

運用方式	番号生成方式	選択
利用時間枠方式 ポイント利用方式 番号固定方式	年月日指定	<input checked="" type="radio"/>
	月日指定	<input type="radio"/>
	日指定	<input type="radio"/>
	日指定なし	<input type="radio"/>

桁数選択	選択
4	<input checked="" type="radio"/>
5	<input type="radio"/>

時間枠数	<input type="text" value="21"/>
------	---------------------------------

管理者モード
 →運用設定
 →運用方式設定
 →運用方式詳細設定
 →時間枠
 ポイント方式設定

管理者モード
 →運用設定
 →運用方式設定
 →運用方式詳細設定
 →時間枠
 ポイント方式設定
 →時間枠数設定

【時間設定枠】

枠	設定時間	時間帯指定方式		ポイント 利用方式
		開始時刻	終了時刻	
1	1時間	16:00	17:00	60
2		17:00	18:00	60
3		18:00	19:00	60
4		19:00	20:00	60
5		20:00	21:00	60
6	2時間	21:00	22:00	60
7		16:00	18:00	120
8		17:00	19:00	120
9		18:00	20:00	120
10		19:00	21:00	120
11	3時間	20:00	22:00	120
12		16:00	19:00	180
13		17:00	20:00	180
14		18:00	21:00	180
15	4時間	19:00	22:00	180
16		16:00	20:00	240
17		17:00	21:00	240
18	5時間	18:00	22:00	240
19		16:00	21:00	300
20		17:00	22:00	300
21	6時間	16:00	22:00	360

管理者モード
 →運用設定
 →運用方式設定
 →運用方式詳細設定
 →時間枠
 ポイント方式設定
 →時間設定

管理者モード
 →運用設定
 →運用方式設定
 →運用方式詳細設定
 →時間枠
 ポイント方式設定
 →ポイント設定

枠は最大50個まで。22～50: 初期設定時は設定なし。

11 出荷時設定(つづき)

設定変更の操作手順
(プリペイド方式)

操作手順通りに設定画面まで進み設定値を変更してください。

【プリペイド番号生成設定】

設定ポイント	作成個数	任意番号
1000	100	1000
2000	100	2000
3000	100	3000
4000	100	4000
5000	100	5000

管理者モード
→運用設定
→運用方式設定
→プリペイド方式
詳細設定
→プリペイド番号
生成設定

【プリペイド番号期間設定】

開始月	<input type="text" value="04"/>
期間	選択
6ヶ月	<input type="checkbox"/>
1年	<input checked="" type="checkbox"/>

管理者モード
→運用設定
→運用方式設定
→プリペイド方式
詳細設定
→プリペイド番号
期間設定

【ポイント減算設定】

パターン名称	減算値
A	100
B	100
C	100
D	100
E	100

管理者モード
→運用設定
→運用方式設定
→プリペイド方式
詳細設定
→プリペイド番号
減算値設定

12 設置工事

1. 準備

- ① M10ボルト・ナットセット(付属品)の確認を
してください。
- ② 入力電圧の確認をしてください。
(AC100VまたはAC200V ±6%以内)
異種電圧を入力しますと、破壊もしくは不安定動作
の原因となります。
- ③ 自立ポールYKX50002(別売)を用意してください。

《ご注意》

- ・操作盤は重量物(28~31kg)ですので、必ず2名以上で施工をしてください。
- ・配線の地中埋設の際には、必ず地中配管工事を行い、地中での結線を避けてください。不安定動作の原因となります。

2. 設置方法

2-1. アンカーボルトおよび電線管の設置 <図1, 図2>

- ① 基礎工事の際に、あらかじめアンカーボルト(別途)、
電線管(別途)を地面より出しておいてください。
アンカーボルト:M16 出代50mm
(アンカーフレームYD9920もご利用いただけます)
電線管 : 呼び28以下 最大4本

- ② 自立ポールYKX50002(別売)の施工説明書にしたがい、
基礎工事を行ってください。

2-2. 操作盤の設置 <図3>

- ① 自立ポールから電線を操作盤底部の通線孔より入線してください。
電源線 : 1.25~3.5mm², φ1.6~2.0mm, 3心
照明制御信号線: 0.75~3.5mm², φ1.6~2.0mm
連動信号線 : φ1.2mm, 1P
(連動信号線には必ずFCPEV相当のケーブルを
使用してください。不安定動作の原因となります。)
- ② 操作盤を自立ポールの取付板にM10ボルト・ナットセット(付属品)
にて4箇所を確実に固定してください。

2-3. 電源線、連動信号線、フル2線信号線の接続 <図4>

- ① 電源線、照明制御信号線、連動信号線、フル2線信号線を
図4を参考に間違わないように接続してください。
接続を誤ると破壊もしくは不安定動作の原因となります。
- ② 操作盤のアース端子には、D種(第3種)接地工事を行ってください。

《電源線・信号線 接続上の注意》

- ・電源線の絶縁耐圧試験および絶縁抵抗試験はZNRを外して
実施してください。外さずに試験を行うと操作盤が破壊します。
- ・連動信号線には極性がありますので注意してください。
極性を誤ると正常動作しません。
- ・連動信号線のシールドは必ず信号線接続端子台のシールド
端子(SLD)へ接続してください。
接続に不備があると不安定動作の原因になります。
- ・複数の操作盤を連動信号線で接続する場合は、終端処理を
外して配線し、末端の操作盤のみ終端処理を施してください。
接続に不備があると不安定動作の原因になります。
- ・信号線に絶縁抵抗試験(メガテスト)を行わないでください。
試験を行うと操作盤が破壊します。

警告

●施工は施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

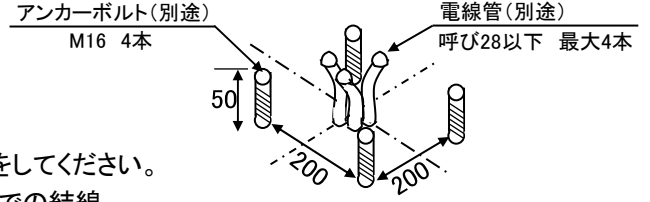


図1

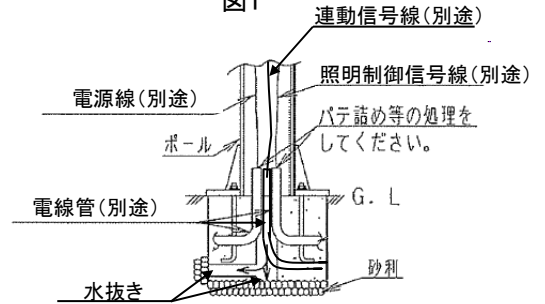


図2

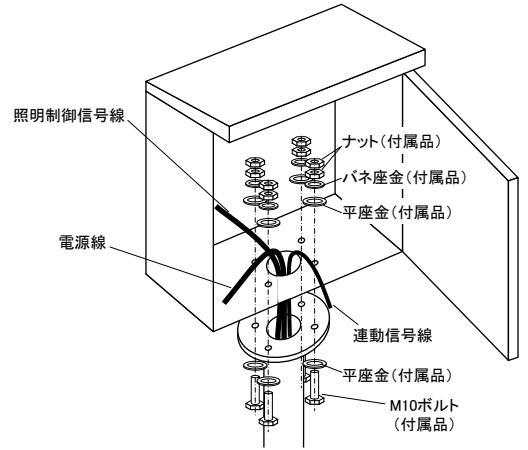


図3

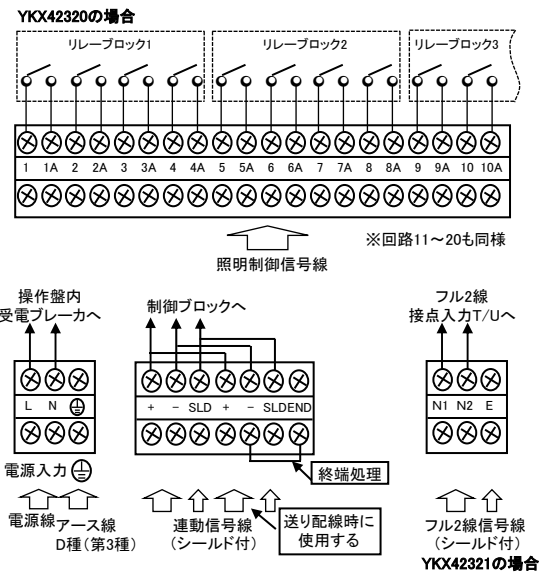


図4

13 動作確認

短縮動作での回路確認

1. 利用者番号を確認する

初期設定の利用時間16:00～17:00の照明パターンごとの利用者番号を確認してください。
確認方法は45ページをご参照ください。

照明パターン	A	B	C	D	E
利用者番号					

利用者番号をメモしてください。

2. 現在時刻を仮設定する

現在時刻を、点灯可能時間帯の終了時刻の5分前の16:55に設定してください。
設定方法は22ページをご参照ください。

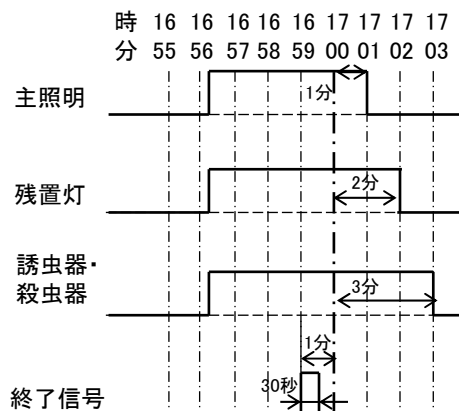
3. 点灯させる

確認するパターンを短縮動作で利用者番号を使用した通常点灯してください。
短縮設定の操作手順は57ページ、通常点灯の操作手順は16ページをご参照ください。

選択したパターンの照明が点灯します。

点灯する照明器具(回路)が正しいか確認してください。

【短縮モードのタイムチャート】



4. 自動消灯を確認する

点灯可能時間帯の終了時刻に対し、各照明器具(回路)が図の短縮動作しますので、回路が正しいか確認してください。

選択したパターンの照明が消灯します。

- ・主照明： 終了時刻の1分後に消灯
- ・残置灯： 終了時刻の2分後に消灯
- ・誘虫器・殺虫器： 終了時刻の3分後に消灯
- ・終了信号： 終了時刻の1分前に点灯し、30秒で消灯

5. 他のパターンを確認する

手順2. から繰り返して、他のパターンを確認してください。

6. 現在時刻を戻す

現在時刻を、正しい時刻に設定してください。

【サービスタイム設定】

項目		設定1	設定2	短縮
主照明	T1	000500	001000	000100
残置灯	T1	001000	002000	000200
誘・殺虫器	T1	010000	003000	000300
終了信号	T1	000500	000500	000030
	T2	000500	000300	000100

安全に関するご注意

 警告

- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。

 注意

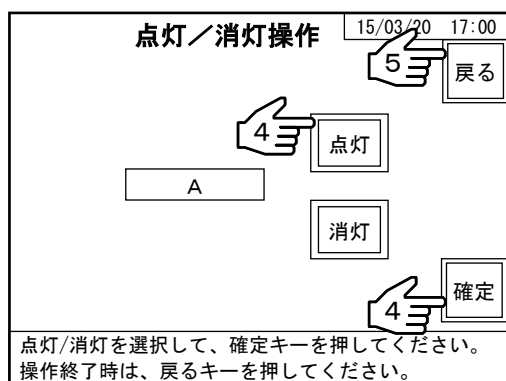
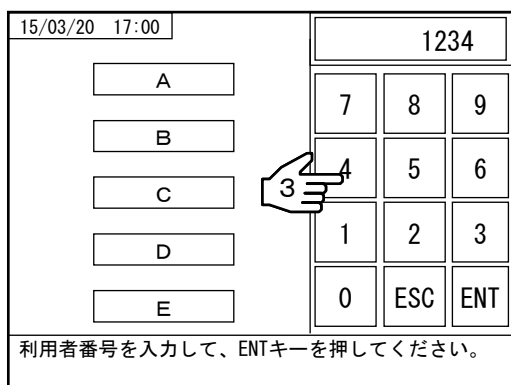
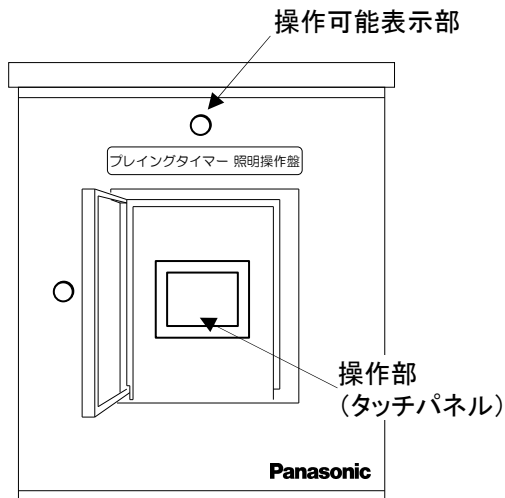
- 盤には寿命があります。
設置して10年※ を経過したり、操作回数が増すと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度30℃です。
 - ・周囲温度が高い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をしてください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

使用上のご注意

- 利用者番号の確認はPCで専用管理ツールを使用し確認してください。
PCのOSはWindows7または8.1に対応しています。
専用管理ツールは、操作盤のタッチパネルに装着されているSDカード内にあります。
操作方法は「23. 管理ツール」をご参照ください。

14 点灯消灯操作

通常点灯操作について(利用時間枠・ポイント利用・番号固定方式)



- A は消灯状態を表します
- A は選択状態を表します
- A は点灯状態を表します
- A ← 強制点灯
- A ← 短縮モード設定中

1. 操作可能時間帯であることを確認する
操作可能表示部が点灯していることを確認してください。

- 操作可能表示部が消灯している場合は、操作可能時間帯ではありません。操作可能時間帯になってから操作してください。

2. 操作扉を開く

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。
- 操作可能時間帯でない場合、操作扉はロックされ、開くことができません。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

3. 利用者番号を入力する

操作部のテンキーから利用者番号を入力してください。表示部に入力された番号が表示されますので、ご確認のうえ、[ENT]ボタンを押してください。利用可能な番号が入力されると次の画面に移行します。入力を間違った場合、「ESC」を押すと、初めから番号を入力できます。

- 以下のエラーが表示された場合、もう一度、利用者番号を入力してください。

- E001: 利用できる番号として登録されていない
- E002: 点灯するパターン他の利用者により点灯中
- E003: 点灯するパターンが強制点灯中
- E004: 利用できる時間帯を過ぎている
- E005: 利用できるポイントが0である
- E006: 利用できない番号である

4. 点灯操作する

操作部の「点灯」を押してください。確認画面が表示されますので、「確定」を押してください。照明パターンの文字が反転表示されます。

5. 操作する終了する

点灯操作後、「戻る」を押し、操作を終了させてください。1分間操作がないと自動的に終了されますが、点灯後に終了せずに誤って消灯操作すると、照明は消灯しますのでご注意ください。

14 点灯消灯操作(つづき)

自動的な消灯動作について

以下のいずれかに該当する場合、照明は自動的に順次消灯していきます。消灯の前に終了信号でお知らせします。

■点灯可能時間帯(施設の利用可能時間)の終了時刻になった場合

この時刻以降の照明利用はできません。

■利用者番号で登録されている利用日時指定の終了時刻になった場合

この時刻以降の照明利用はできません。

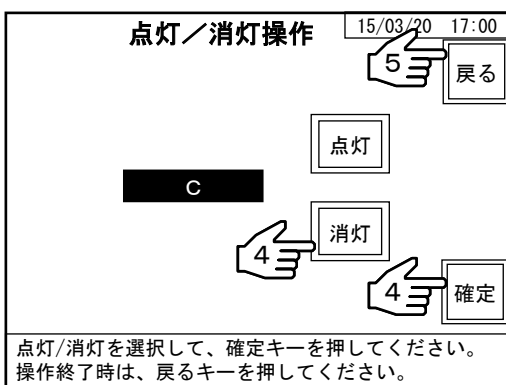
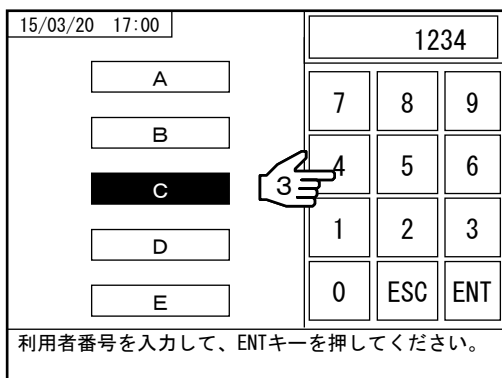
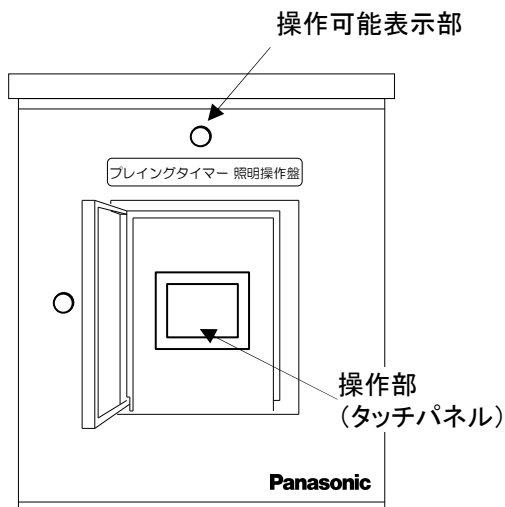
■利用者番号で登録されているポイントがなくなった場合 ※ポイント利用方式で運用の場合のみ

ポイント利用方式で運用する場合、照明の利用に応じて、ポイントが減算されていき、ポイントがなくなると消灯になります。ポイントがなくなった場合、これ以降の照明利用はできません。他の利用者番号が必要となります。

上記以外で、途中で消灯させる場合などは、消灯操作を行ってください。
上記に該当するまで照明が点灯しつづけます。

14 点灯消灯操作(つづき)

通常消灯操作について(利用時間枠・ポイント利用・番号固定方式)



- C は消灯状態を表します
- C は選択状態を表します
- C は点灯状態を表します
- C ← 強制点灯
- C ← 短縮モード設定中

1. 操作可能時間帯であることを確認する

操作可能表示部が点灯していることを確認してください。

- 操作可能表示部が消灯している場合は、操作可能時間帯ではありません。操作可能時間帯になってから操作してください。

2. 操作扉を開く

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。
- 操作可能時間帯でない場合、操作扉はロックされ、開くことができません。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
 ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

3. 利用者番号を入力する

操作部のテンキーから利用者番号を入力してください。表示部に入力された番号が表示されますので、ご確認のうえ、[ENT]ボタンを押してください。利用可能な番号が入力されると次の画面に移行します。入力を間違った場合、「ESC」を押すと、初めから番号を入力できます。

- 以下のエラーが表示された場合もう一度、利用者番号を入力してください。

- E001: 利用できる番号として登録されていない
- E002: 点灯するパターン他の利用者により点灯中
- E003: 点灯するパターンが強制点灯中
- E004: 利用できる時間帯を過ぎている
- E005: 利用できるポイントが0である
- E006: 利用できない番号である

4. 消灯操作する

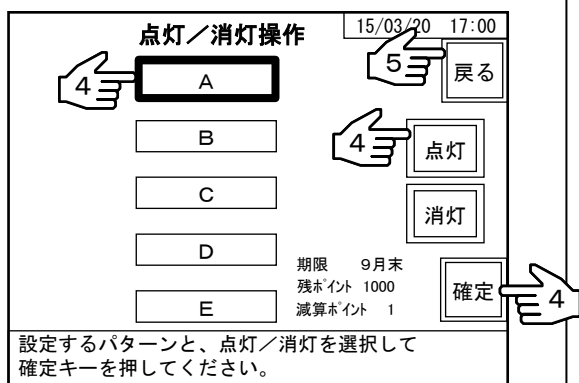
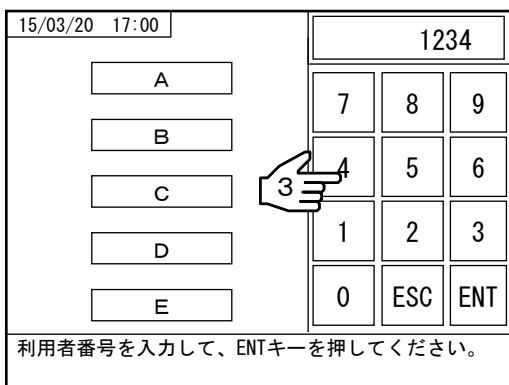
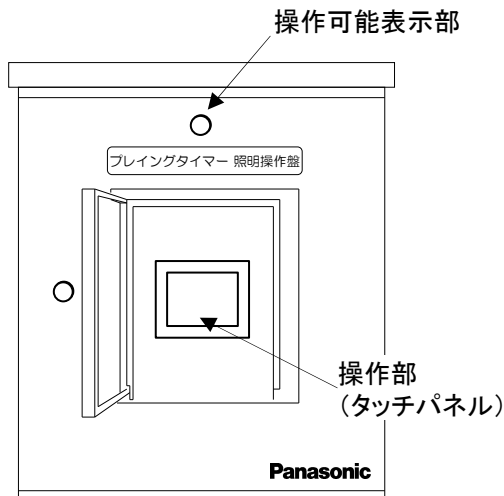
操作部の「消灯」を押してください。確認画面が表示されますので、「確定」を押してください。照明パターンの文字が反転表示されます。

5. 操作する終了する

消灯操作後、「戻る」を押し、操作を終了させてください。1分間操作がないと自動的に終了されます。

15 点灯消灯操作

通常点灯操作について(プリペイド方式)



- A は消灯状態を表します
- A は選択状態を表します
- A は点灯状態を表します
- A ← 強制点灯
- A ← 短縮モード設定中

1. 操作可能時間帯であることを確認する
操作可能表示部が点灯していることを確認してください。

- 操作可能表示部が消灯している場合は、操作可能時間帯ではありません。操作可能時間帯になってから操作してください。

2. 操作扉を開く

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。
- 操作可能時間帯でない場合、操作扉はロックされ、開くことができません。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

3. 利用者番号を入力する

操作部のテンキーから利用者番号を入力してください。表示部に入力された番号が表示されますので、ご確認のうえ、[ENT]ボタンを押してください。利用可能な番号が入力されると次の画面に移行します。入力を間違った場合、「ESC」を押すと、初めから番号を入力できます。

- 以下のエラーが表示された場合、もう一度、利用者番号を入力してください。

- E001: 利用できる番号として登録されていない
- E002: 点灯するパターン他の利用者により点灯中
- E003: 点灯するパターンが強制点灯中
- E004: 利用できる時間帯を過ぎている
- E005: 利用できるポイントが0である
- E006: 利用できない番号である

4. 点灯操作する

点灯したいパターンを選択して操作部の「点灯」を押してください。確認画面が表示されますので、「確定」を押してください。照明パターンの文字が反転表示されます。(減算ポイントが残ポイント数を上回っていた場合、点灯操作はできません。パターンの選択をやり直してください。)

5. 操作する終了する

点灯操作後、「戻る」を押し、操作を終了させてください。1分間操作がないと自動的に終了されますが、点灯後に終了せずに誤って消灯操作すると、照明は消灯しますのでご注意ください。

15 点灯消灯操作(つづき)

自動的な消灯動作について

以下のいずれかに該当する場合、照明は自動的に順次消灯していきます。消灯の前に終了信号でお知らせします。

■点灯可能時間帯(施設の利用可能時間)の終了時刻になった場合

この時刻以降の照明利用はできません。

■利用者番号で登録されているポイントがなくなった場合 ※プリペイド方式で運用の場合のみ

プリペイド方式で運用する場合、照明の利用に応じて、ポイントが減算されていき、ポイントがなくなると消灯になります。

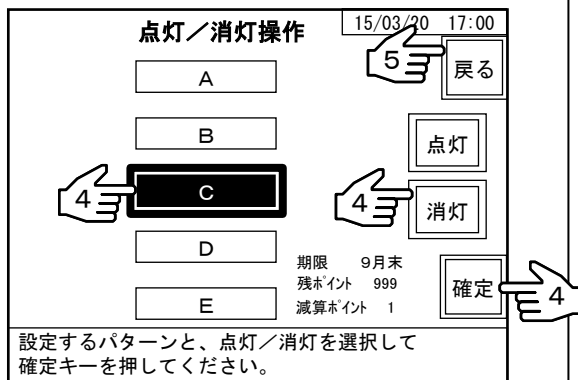
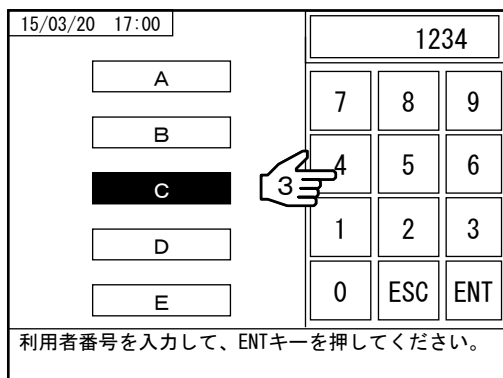
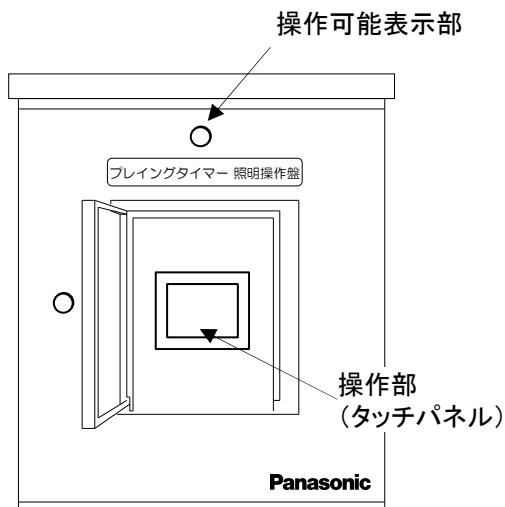
ポイントがなくなった場合、これ以降の照明利用はできません。他の利用者番号が必要となります。

上記以外で、途中で消灯させる場合などは、消灯操作を行ってください。

上記に該当するまで照明が点灯しつづけます。

15 点灯消灯操作(つづき)

通常消灯操作について(プリペイド方式)



- C は消灯状態を表します
- C は選択状態を表します
- C は点灯状態を表します
- C ← 強制点灯
- C ← 短縮モード設定中

1. 操作可能時間帯であることを確認する

操作可能表示部が点灯していることを確認してください。

- 操作可能表示部が消灯している場合は、操作可能時間帯ではありません。操作可能時間帯になってから操作してください。

2. 操作扉を開く

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。
- 操作可能時間帯でない場合、操作扉はロックされ、開くことができません。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
 ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

3. 利用者番号を入力する

操作部のテンキーから利用者番号を入力してください。表示部に入力された番号が表示されますので、ご確認のうえ、[ENT]ボタンを押してください。利用可能な番号が入力されると次の画面に移行します。入力を間違った場合、「ESC」を押すと、初めから番号を入力できます。

- 以下のエラーが表示された場合もう一度、利用者番号を入力してください。

- E001: 利用できる番号として登録されていない
- E002: 点灯するパターン他の利用者により点灯中
- E003: 点灯するパターンが強制点灯中
- E004: 利用できる時間帯を過ぎている
- E005: 利用できるポイントが0である
- E006: 利用できない番号である

4. 消灯操作する

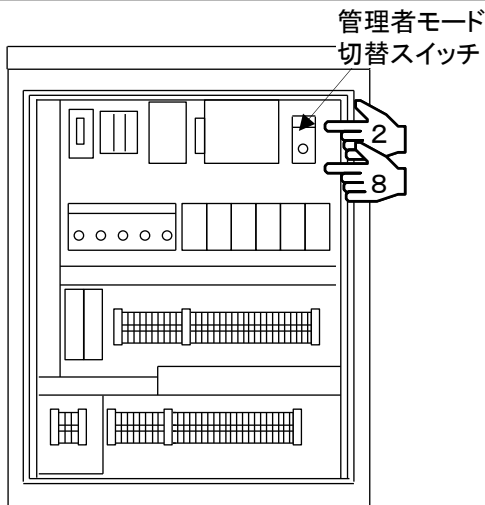
消灯したいパターンを選択して操作部の「消灯」を押してください。確認画面が表示されますので、「確定」を押してください。

5. 操作する終了する

消灯操作後、「戻る」を押し、操作を終了させてください。1分間操作がないと自動的に終了されます。

16 時計設定

時計の設定



1. 管理扉を開く
2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

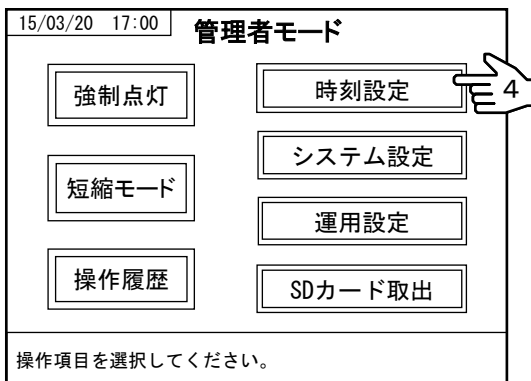
操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。



注意

- ・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
- ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。



4. 時刻設定を選択

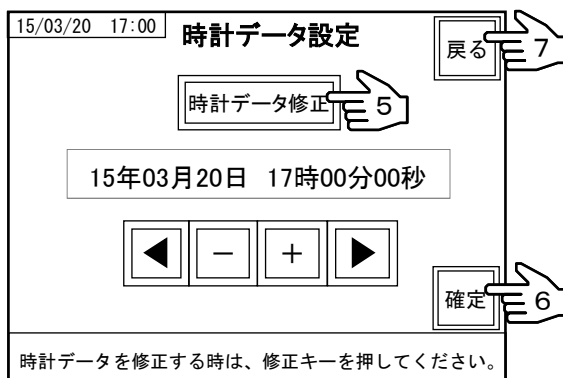
タッチパネルの「時刻設定」を押してください。時計データ設定画面が表示されます。

5. 時刻データの修正

日時を変更する場合は、変更する項目を ▲▼ を押して修正してください。

6. 時刻データの確定

変更箇所の修正をすべて完了したのちに、「確定」をしてください。



7. 時計設定の終了

時計設定を終了する場合、「戻る」を押してください。管理者モードの初期画面に戻ります。「確定」を押さず「戻る」を押すと、時刻データは変更されません。

8. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間帯外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

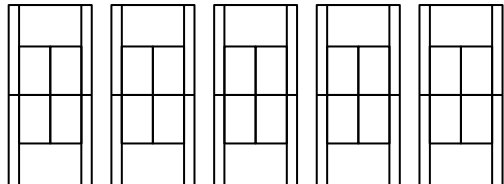
時計データの時刻がずれた場合は、修正設定してください。時計データがずれると、実際の運用時間との違いが発生する場合があります。

17 システム設定

システム設定例

出荷時設定

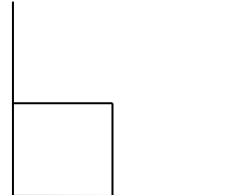
テニス5パターン(①~⑤)の主照明・残置灯・誘虫器・殺虫器・終了信号の制御が可能



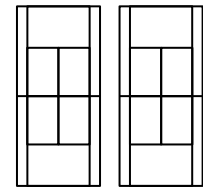
①テニスA ②テニスB ③テニスC ④テニスD ⑤テニスE

変更例

野球2パターン(①, ②)とテニス3パターン(③~⑤)の主照明・残置灯・誘虫器・殺虫器・終了信号の制御が可能



①野球A(軟式野球)
②野球B(ソフトボール)



③テニスA ④テニスB
⑤テニス全(A+B)

設定変更内容

上記例のような設定変更を行うためには、下表の太枠部の内容を変更してください。変更方法については、24~58ページをご参照ください。

★変更項目

- ①出力動作 ... 接続する照明分電盤の回路種別に合わせて設定してください。
- ②照明パターン名称 ... 名称を変更してください
- ③照明パターン出力連動 ... 各照明パターン連動する回路を指定してください。複数照明パターンの重複指定も可能です。
- ④照明連動操作 ... ③出力回路重複指定した場合、同時成立を制限する照明パターンを指定してください。

【照明パターン名称・連動動作設定】

回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出力動作	主	主	主	残	虫	終	主	主	主	残	虫	終	主	残	虫	終	主	残	虫	終
野球全	○	○	○	○	○	○														
野球半	○			○	○	○														
テニスA									○	○	○	○								
テニスB													○	○	○	○				
テニス全									○	○	○	○	○	○	○	○				

主:主照明 残:残置照明 虫:誘虫器・殺虫器 終:終了信号 空白:設定なし

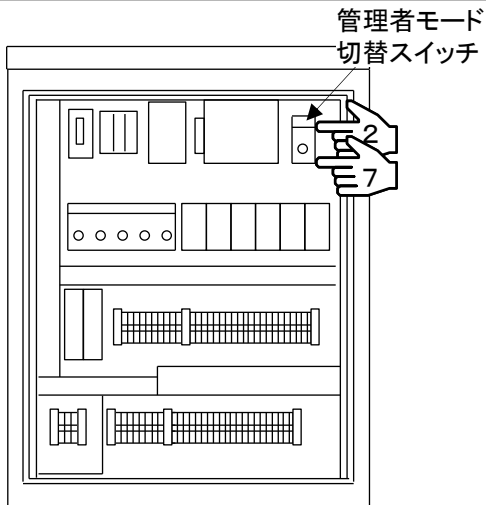
【照明パターン同時成立制限設定】

		パターン(同時成立を制限する)				
		野球全	野球半	テニスA	テニスB	テニス全
パターン (実行中)	野球全		●			
	野球半	●				
	テニスA					●
	テニスB					●
	テニス全			●	●	

●:同時成立禁止

17 システム設定(つづき)

設定項目の選択



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

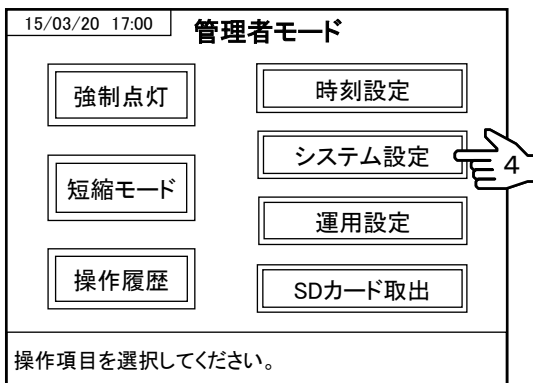
操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
 ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。



4. システム設定を選択

タッチパネルの「システム設定」を押してください。システム設定画面が表示されます。

5. 設定項目を選択

タッチパネルから設定する項目を選択してください。設定操作可能な項目は下記のとおりです。

■手動設定

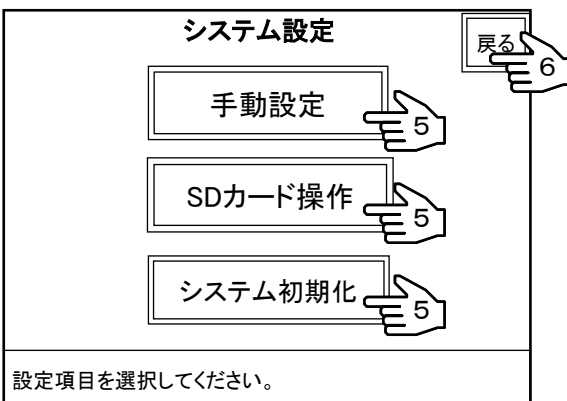
- ①操作／点灯可能時間設定
- ②各出力動作設定
- ③パターン名称連動動作設定
- ④パターン同時成立制限設定
- ⑤先行入力可否設定
- ⑥装置設定

■SDカード操作 (PLC: 操作盤内蔵の制御ブロック)

- ①システム情報書込 SDカード → PLC
システムデータを一括で変更することができます。
- ②システム情報読出 PLC → SDカード
利用者番号管理ツールで使用するシステムデータをSDカードに保存します。
- ③パターン名称書込 SDカード → PLC
パターン名称変更ツールで作成したパターン名称を操作盤に設定します。
- ④パターン名称 初期設定読出
パターン名称の初期設定値を読み出します。
- ⑤ログデータ読出 PLC → SDカード
利用ログ・エラーログを読み出します。
- ⑥プリペイド情報書込 SDカード → PLC
プリペイド情報を一括で変更することができます。
- ⑦プリペイド情報読出 PLC → SDカード
プリペイド情報を読み出します。

■システム初期化

システムを出荷時の設定に戻します。



6. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。

利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

17 システム設定(つづき)

手動設定 操作／点灯可能時間設定

手動設定 戻る

操作/点灯可能時間設定 1	パターン同時成立制限設定
各出力動作設定	先行入力可否設定
パターン名称運動動作設定	装置設定

設定項目を選択してください。

操作/点灯可能時間設定 戻る 4

2 期間1 使用	開始日01/01 操作:16:00 ~ 22:00 誘・殺虫器:ON 点灯:16:00 ~ 22:00
期間2 使用	開始日04/01 操作:16:00 ~ 22:00 誘・殺虫器:ON 点灯:16:00 ~ 22:00
期間3 使用	開始日07/01 操作:16:00 ~ 22:00 誘・殺虫器:ON 点灯:16:00 ~ 22:00
期間4 使用	開始日10/01 操作:16:00 ~ 22:00 誘・殺虫器:ON 点灯:16:00 ~ 22:00

2 確定

設定する期間を選択して、確定キーを押してください。

期間1 戻る

開始日01/01 使用	月 日 日 01 01
誘虫器・殺虫器 OFF	7 8 9
操作開始時刻 16:00	4 5 6
操作終了時刻 22:00	1 2 3
点灯開始時刻 16:00	ESC ENT
点灯終了時刻 22:00	3 確定 3

開始日を入力してください。未変更は0を押してください。
(例)1月1日の場合は、0101と入力しENTを押してください。

1. 操作／点灯可能時間設定を選択

タッチパネルの「操作／点灯可能時間設定」を押してください。設定画面が表示されます。

「不使用」と設定した期間は、タッチパネルに「操作時間外」と表示され操作はできなくなります。

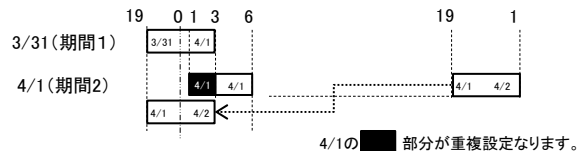
2. 期間を選択

設定を変更する期間を選択し、「確定」を押してください。

操作可能時間設定の制約事項

- ①開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定できません。24時間連続使用の設定はできません。日をまたぐ設定(例:19:00~02:00)は設定可能です。
- ②使用期間をまたいで、操作可能時間の重複はできません。

例
 期間1: 1/1~3/31 19:00~03:00
 期間2: 4/1~7/31 01:00~06:00(設定不可)
 19:00~03:00(設定可能)



①②は設定入力は可能ですが、制御は正常に行われない可能性があります。

誘虫器使用上の注意

誘虫器の点灯時間に関しては、誘虫器の承認図・取説をご確認の上、適切な時間の設定をお願いします。

3. 設定内容を変更

黒枠で選択される項目の数値を入力します。入力後「ENT」で次項目へ移動します。「ESC」で前項目へ移動します。変更しない場合は、「ENT」を押してください。項目すべてを変更したのちに、「確定」を押してください。

4. 設定を終了する

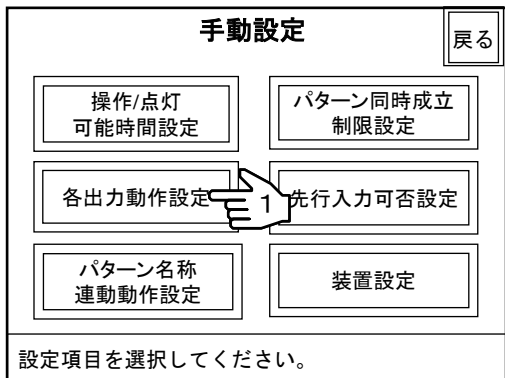
「戻る」を押して、設定を終了してください。他の期間の設定を変更する場合は、2から3を繰り返してください。

設定値記入欄: 設定を変更したときに記入してください。

点灯・操作可能時間設定							
期間	開始日	使用／不使用	操作可能時間		点灯可能時間		誘・殺虫器
			開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻	
1	月 日		:	:	:	:	
2	月 日		:	:	:	:	
3	月 日		:	:	:	:	
4	月 日		:	:	:	:	

17 システム設定(つづき)

手動設定 各出力動作設定



1. 各出力動作設定を選択

タッチパネルの「各出力動作設定」を押してください。設定画面が表示されます。

2. 出力回路の選択

設定を変更する回路を選択してください。

3. 表示の変更

変更する回路が表示されていないときは、「▲・▼」キーを押してください。

4. 回路種別の選択

回路種別を下記種別から選択してください。
「主」主照明, 「残」残置灯, 「虫」誘虫器・殺虫器, 「終」終了信号

5. サービスタイプの選択

回路種別ごとにサービスタイプの選択が可能です。
サービスタイプ1または2を選択してください。

6. サービスタイムの設定

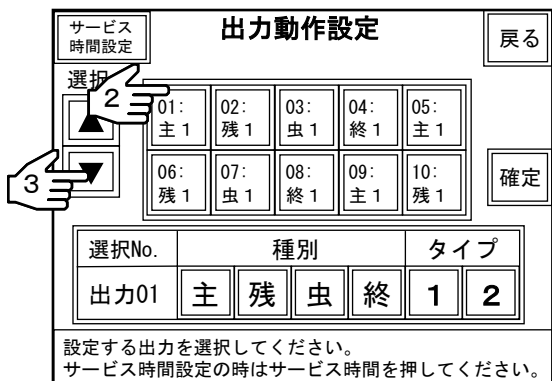
種別ごとにサービスタイムを設定することが可能です。
「サービス時間設定」を押してください。
操作手順は次ページをご参照ください。

7. 設定変更の確定

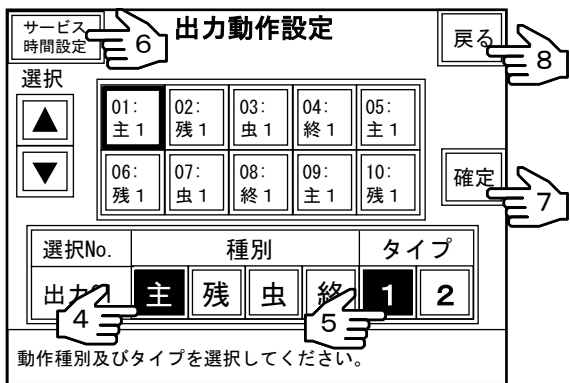
出力回路ごとの設定を確定するときは、「確定」を押してください。

8. 設定を終了する

「戻る」を押して、設定を終了してください。他の回路の設定を変更する場合は、2から7を繰り返してください。



設定する出力を選択してください。
サービス時間設定の時はサービス時間を押してください。



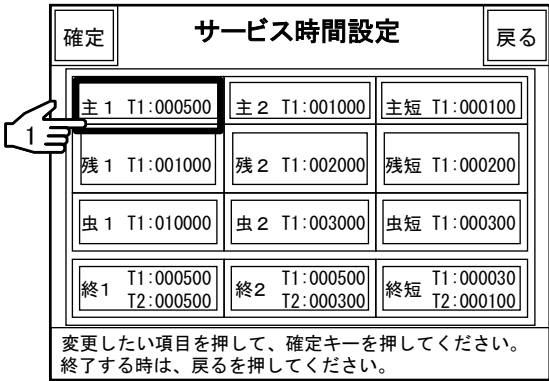
動作種別及びタイプを選択してください。

設定値記入欄: 設定を変更したときに記入してください。

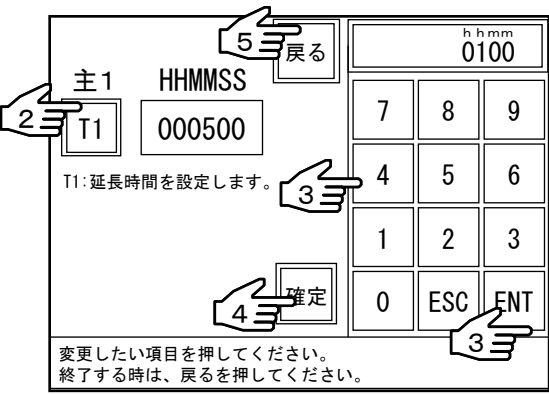
回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出力動作																				

17 システム設定(つづき)

手動設定 各出力動作設定 サービスタイム設定



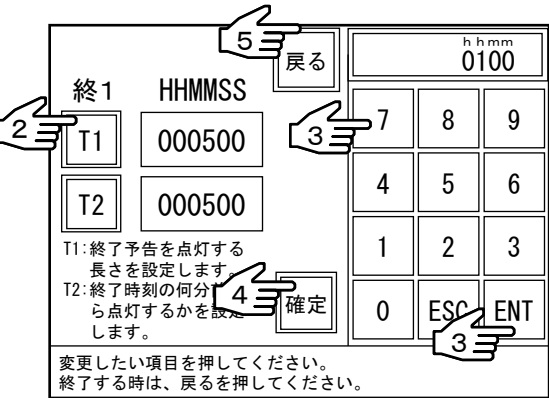
1. サービス時間設定項目の選択
設定を変更する項目を押してください。



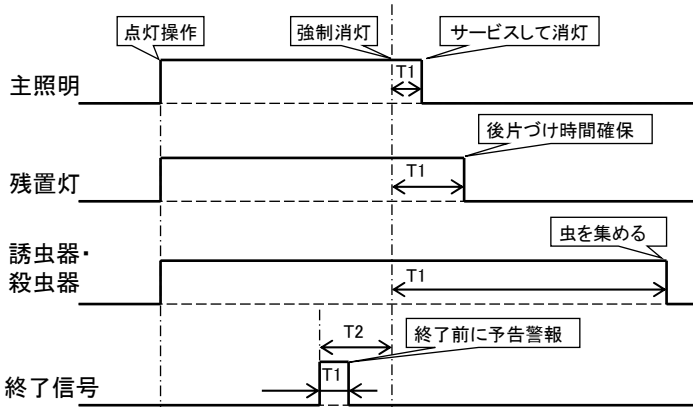
2. 変更する時間を選択
設定を変更する時間を選択してください。

3. 設定値の入力
テンキーを押し、設定値を入力し「ENT」を押してください。
設定値は下記の通り入力してください。
例：10分に設定する場合 001000 (HHMMSS)

4. 設定内容を変更
設定値を確定するときは、「確定」を押してください。



5. 設定を終了する
「戻る」を押して、設定を終了してください。

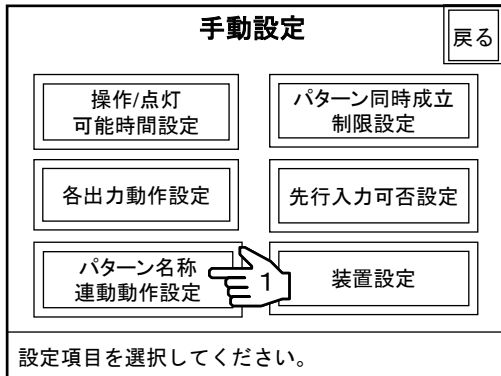


設定値記入欄: 設定を変更したときに記入してください。

項目	設定1	設定2	短縮
主照明	T1		
残置灯	T1		
誘・殺虫器	T1		
終了信号	T1		
	T2		

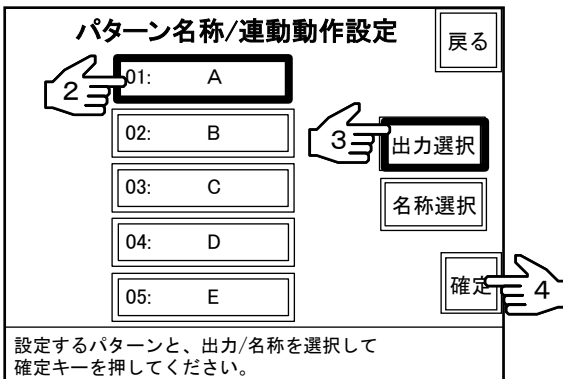
17 システム設定(つづき)

手動設定 パターン名称 連動動作設定



1. パターン名称 連動動作設定を選択

タッチパネルの「パターン名称連動動作設定」を押してください。設定画面が表示されます。



2. パターンの選択

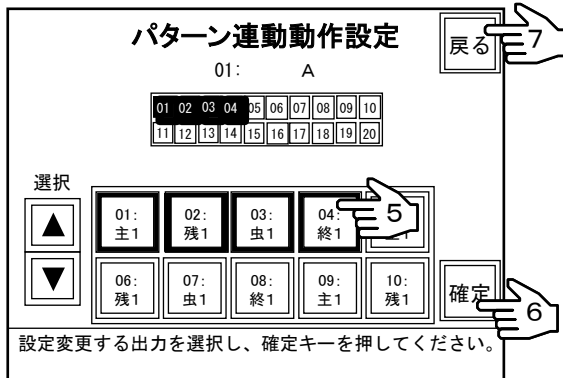
設定を変更するパターンを選択してください。

3. 変更項目を選択

設定を変更する項目「出力選択」を選択してください。

4. 変更項目を確定

「確定」を押して、設定変更項目を確定してください。



5. 連動回路を選択

選択しているパターン連動する回路を選択してください。

6. 連動回路を確定

「確定」を押して、選択しているパターン連動する回路を確定してください。

7. 設定を終了する

「戻る」を押して、設定を終了してください。

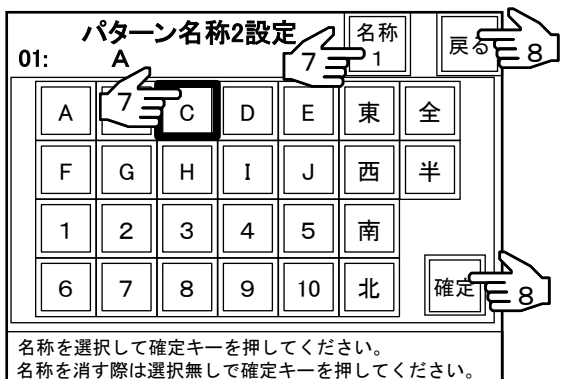
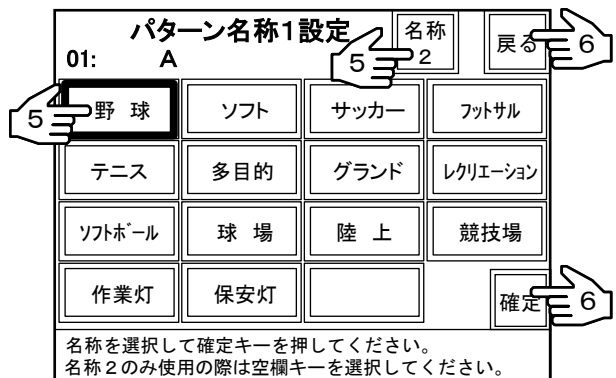
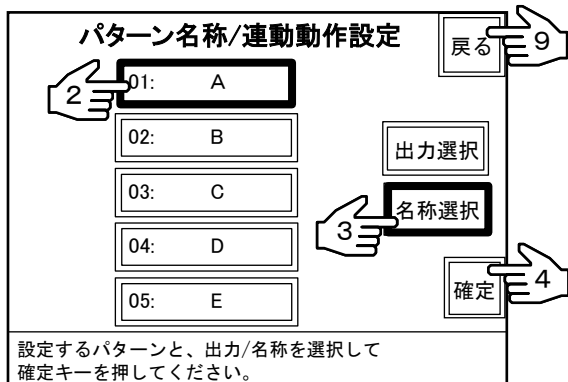
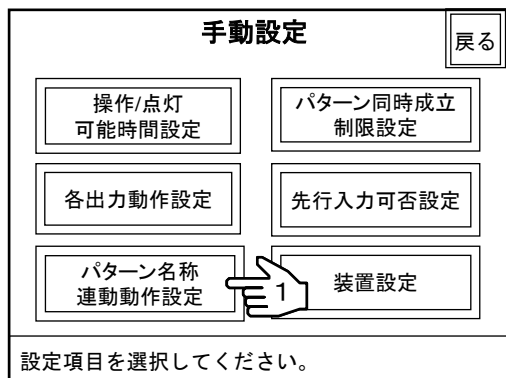
他のパターンの設定を変更する場合は、手順2から6を繰り返してください。

設定値記入欄: 設定を変更したときに記入してください。

回路番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
出力動作																				

17 システム設定(つづき)

手動設定 パターン名称 連動動作設定



1. パターン名称連動動作設定を選択

タッチパネルの「パターン名称連動動作設定」を押してください。設定画面が表示されます。

2. パターンの選択

設定を変更するパターンを選択してください。

3. 変更項目を選択

設定を変更する項目を「名称設定」を選択してください。

4. 変更項目を確定

「確定」を押して、設定変更項目を確定してください。

パターン名称は名称1と名称2で構成されます。名称2のみを使用する場合は名称1は空白を選択してください。

(例)パターン名称:野球A → 名称1:野球 + 名称2:A

5. 名称1の選択

14通りの名称から選択してください。設定を終了する場合は、「戻る」を押してください。名称2を選択するときは「名称2」を押してください。名称2のみを使用する場合は、「空白」を選択してください。

6. 名称1の確定

「確定」を押してください。設定を終了する場合は、「戻る」を押してください。

7. 名称2の選択

26通りの名称から選択してください。名称1を選択するときは「名称1」を押してください。設定を終了する場合は、「戻る」を押してください。

8. 名称2の確定

「確定」を押してください。設定を終了する場合は、「戻る」を押してください。

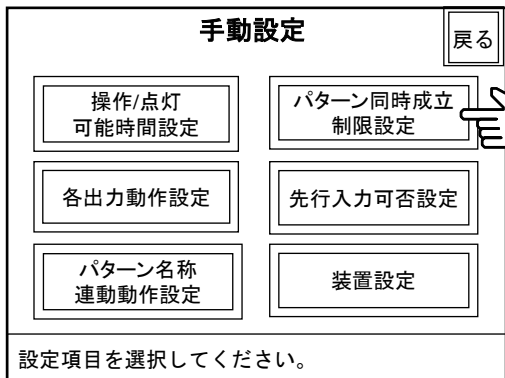
9. 設定を終了する

「戻る」を押して、設定を終了してください。他のパターンの設定を変更する場合は、手順2から8を繰り返してください。

名称1と名称2には初期値が設定されています。変更する場合には「27パターン名称管理」を参考し名称管理ツールで変更してください。

17 システム設定(つづき)

手動設定 パターン同時成立制限設定



1. パターン同時成立制限設定を選択

タッチパネルの「パターン同時成立制限設定」を押してください。設定画面が表示されます。

2. 実行中パターンを選択

設定するパターンを「▲・▼」を押して選択してください。

3. 同時成立制限を設定

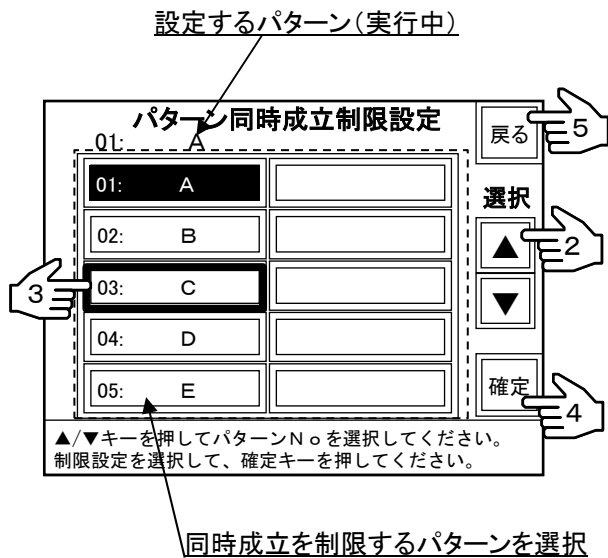
同時成立を制限するパターンを設定してください。

4. 設定を確定

「確定」を押してください。他のパターンを設定する場合、手順2～4を繰り返してください。

5. 設定を終了する

「戻る」を押して、設定を終了してください。



上記図例の場合、パターン「A」実行中にパターン「C」の実行を制限(禁止)する設定になります。

		パターン				
		A	B	C	D	E
パターン (実行中)	A	●				
	B					
	C					
	D					
	E					

●: 同時成立禁止

設定するパターン(実行中)

設定値記入欄: 設定を変更したときに記入してください。

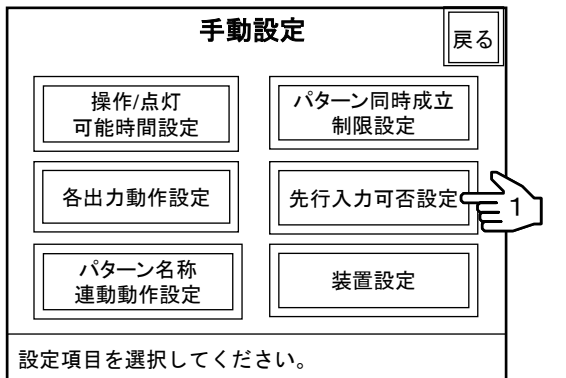
同時成立を制限するパターンを選択

		パターン				
		A	B	C	D	E
パターン (実行中)	A					
	B					
	C					
	D					
	E					

●: 同時成立禁止

17 システム設定(つづき)

手動設定 先行入力可否設定

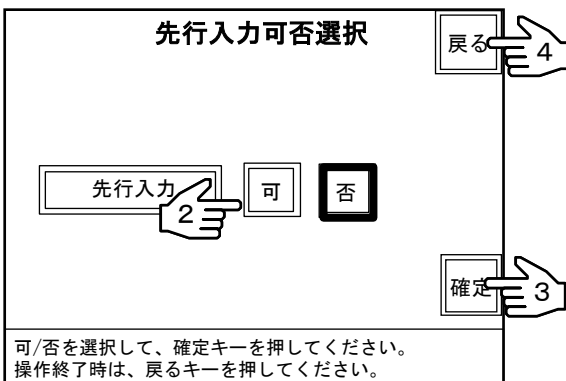


1. 先行入力可否設定を選択

タッチパネルの「先行入力可否設定」を押してください。設定画面が表示されます。

2. 設定項目を選択

可/否を押して項目を選択してください。



3. 設定を確定

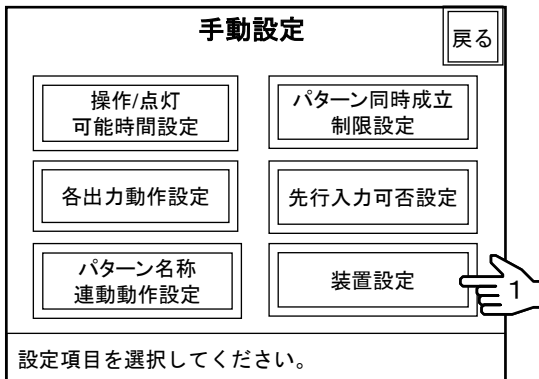
「確定」を押してください。

4. 設定を終了する

「戻る」を押して、設定を終了してください。

17 システム設定(つづき)

手動設定 装置設定



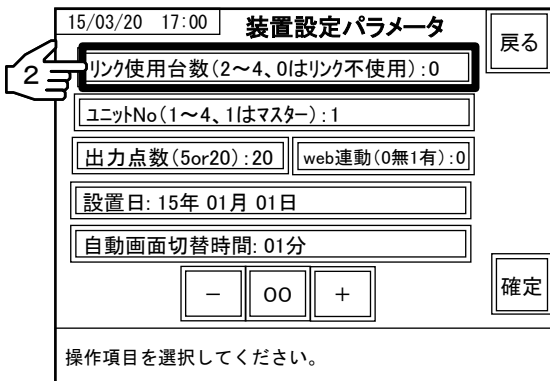
複数台接続するためのシステム関係の設定を行います。
注意:一度設定を行った後は、特に問題がない場合は変更しないでください。変更を行った場合、システムが正常に動かなくなる場合があります。

1. 装置設定を選択

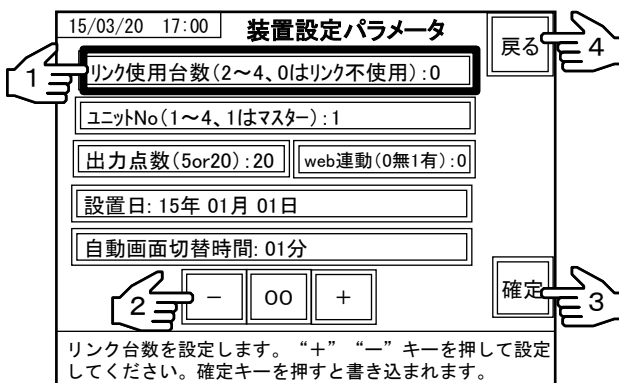
タッチパネルの「装置設定」を押してください。
設定画面が表示されます。

2. 設定項目を選択

設定を変更する項目を選択してください。



装置設定 リンク使用台数



1. 設定項目を選択

タッチパネルの「リンク使用台数」を選択してください。

2. リンク使用台数の選択

台数を＋キーで選択し、確定してください。
(リンク不使用時は、0を選択してください)

3. リンク使用台数の確定

リンク使用台数を選択し、「確定」を押してください。

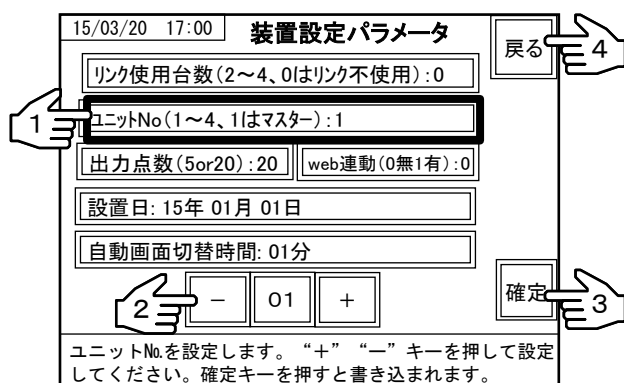
4. 装置設定の終了

「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

リンク使用台数・ユニットNoの変更を行った場合は、リンク先の機器も含めて、一度電源をOFFしてください。
リンクが正常につながらない場合があります。

17 システム設定(つづき)

装置設定 ユニットNo



1. 設定項目を選択

タッチパネルの「ユニットNo」を選択してください。

2. ユニットNoの選択

ユニットNoを＋キーで選択し、確定してください。
(ユニットNoは1番から使用してください。また他のユニット同士で番号は重複しない様にしてください。)

3. ユニットNoの確定

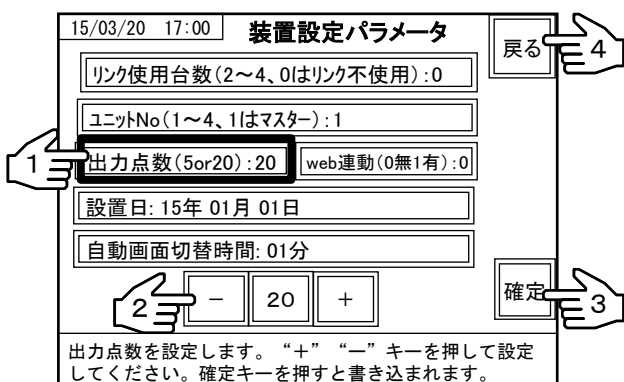
ユニットNoを選択し、「確定」を押してください。

4. 装置設定の終了

「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

リンク使用台数・ユニットNoの変更を行った場合は、リンク先の機器も含めて、一度電源をOFFしてください。
リンクが正常につながらない場合があります。

装置設定 出力点数



1. 設定項目を選択

タッチパネルの「出力点数」を選択してください。

2. 出力点数の選択

出力点数を＋キーで選択し、確定してください。
(ご利用機器の仕様に合わせて出力点数を設定してください)

3. 出力点数の確定

出力点数を選択し、「確定」を押してください。

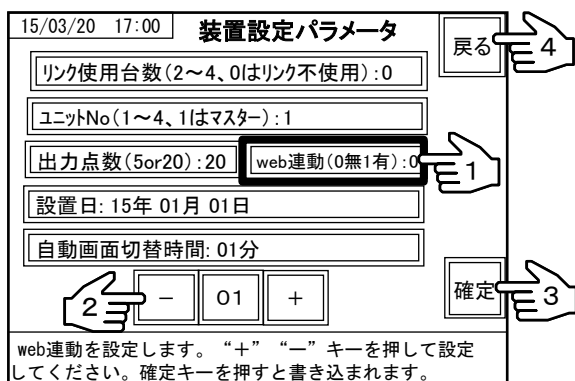
4. 装置設定の終了

「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

ご利用の機器の仕様と異なる設定を行った場合、機器が思わぬ動作をする可能性があります。ご利用の機器の仕様に合わせて設定してください。

17 システム設定(つづき)

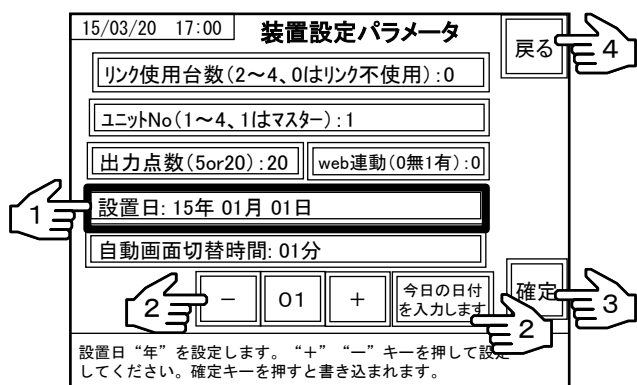
装置設定 web連動



1. 設定項目を選択
タッチパネルの「web連動」を選択してください。
2. web連動の選択
web連動を＋キーで選択し、確定してください。
(ご利用の機器の仕様に合わせて設定してください)
3. web連動の確定
web連動を選択し、「確定」を押してください。
4. 装置設定の終了
「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

ご利用の機器の仕様と異なる設定を行った場合、機器が思わぬ動作をする可能性があります。ご利用の機器の仕様に合わせて設定してください。

装置設定 設置日

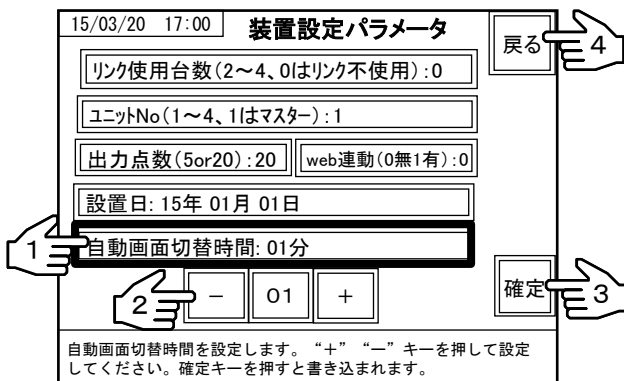


1. 設定項目を選択
タッチパネルの「設置日」を選択してください。
2. 設置日の選択
設置日を＋キーで選択し、確定してください。
(年→月→日の順で項目が移ります)
「今日の日付を入力します」キーを押した場合、設置日に時刻設定で設定した年月日が入力されます。
3. 設置日の確定
設置日を選択し、「確定」を押してください。
4. 装置設定の終了
「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

設置日を変更した場合、利用者番号・ポイント等の再設定を行いますのでご注意ください。

17 システム設定(つづき)

装置設定 自動画面切替時間



1. 設定項目を選択

タッチパネルの「自動画面切替時間」を選択してください。

2. 自動画面切替時間の選択

自動画面切替時間を＋キーで選択し、確定してください。
(利用者操作画面でこの設定時間の間、操作がなければ待機画面に移ります)

3. 自動画面切替時間の確定

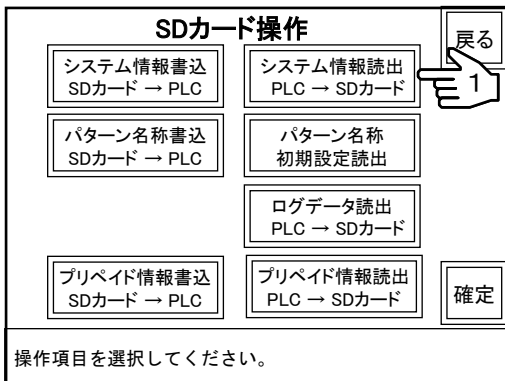
自動画面切替時間を選択し、「確定」を押してください。

4. 装置設定の終了

「戻る」を押して、手動設定に戻ってください。

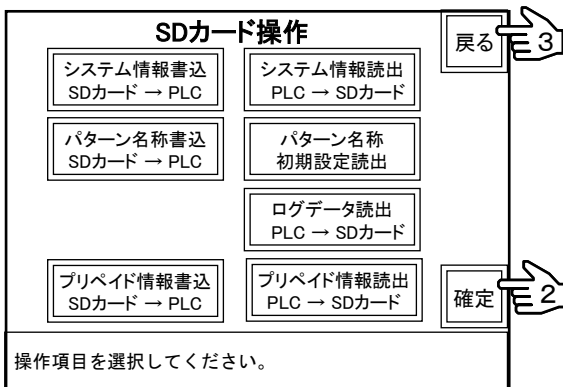
17 システム設定(つづき)

SDカード操作 システム情報読出



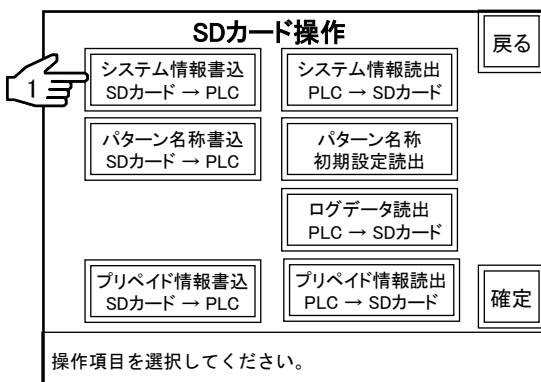
PCで利用者番号管理ツールを使用するためのシステム情報の読出しを行います。

1. システム情報読出を選択
タッチパネルの「システム情報読出」を押してください。
2. システム情報読出し実行
「確定」を1秒以上長押ししてください。
システム情報をSDカードに書き込みます。



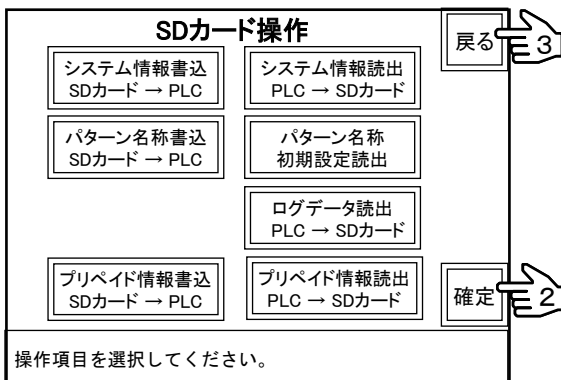
3. 情報読出しを終了
「戻る」を押して終了してください。

SDカード操作 システム情報書込



PCで変更したシステム情報の書き込みを行います。

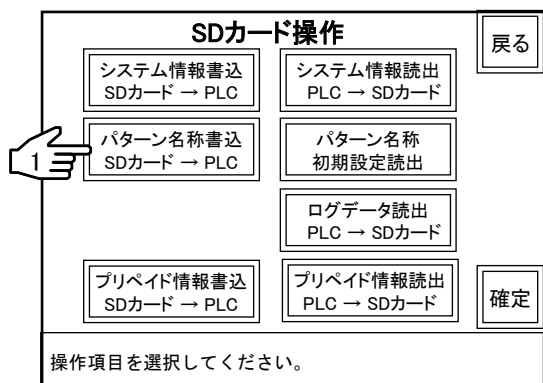
1. システム情報書込を選択
タッチパネルの「システム情報書込」を押してください。
2. システム情報書込みを実行
「確定」を1秒以上長押ししてください。
SDカードのシステム情報を制御ブロックに書き込みます。



3. 情報書込みを終了
「戻る」を押して終了してください。

17 システム設定(つづき)

SDカード操作 パターン名称書込



PCで作成したパターン名称を制御ブロックに書き込みます。

1. パターン名称書込を選択

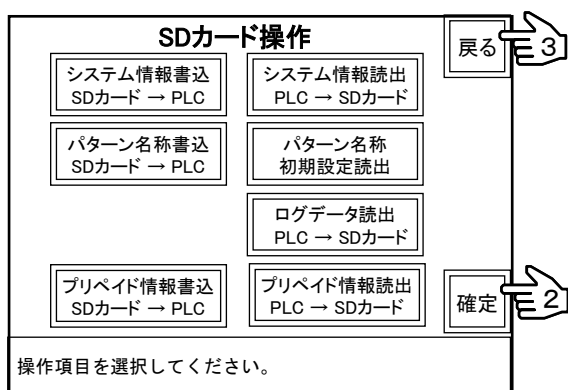
タッチパネルの「パターン名称書込」を押してください。

2. パターン名称書込みを実行

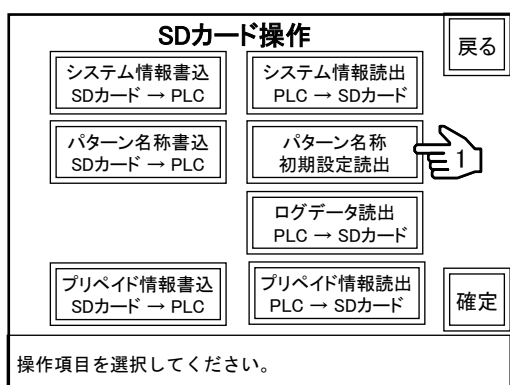
「確定」を1秒以上長押ししてください。
SDカードのパターン名称データを制御ブロックに書き込みます。

3. パターン名称書込みを終了

「戻る」を押して終了してください。



SDカード操作 パターン名称初期設定読出



パターン名称の初期設定の読出しを行います。

1. パターン名称初期設定読出を選択

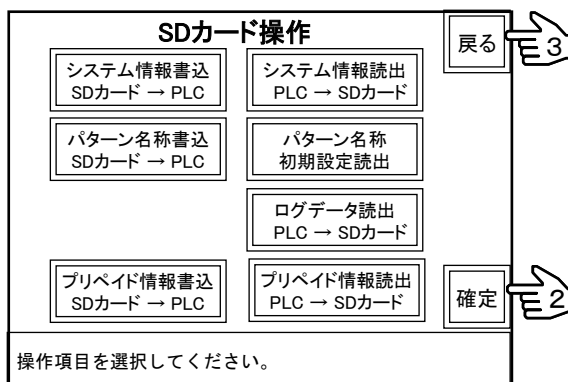
タッチパネルの「パターン名称初期設定読出」を押してください。

2. パターン名称初期設定読出を実行

「確定」を1秒以上長押ししてください。
パターン名称初期設定読出を行います。

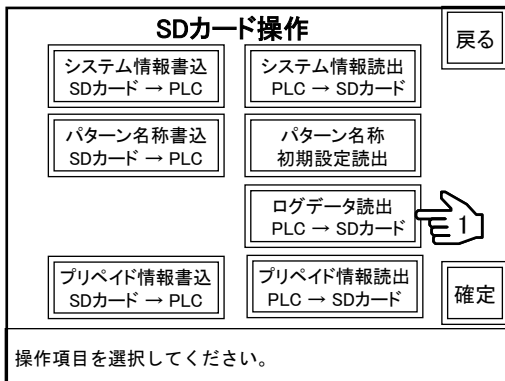
3. パターン名称初期設定読出を終了

「戻る」を押して終了してください。



17 システム設定(つづき)

SDカード操作 ログデータ読出

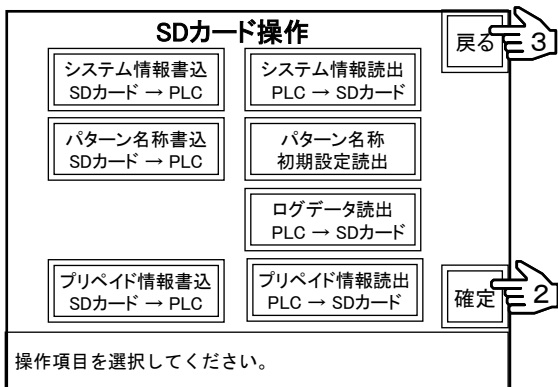


ログデータの読出しを行います。

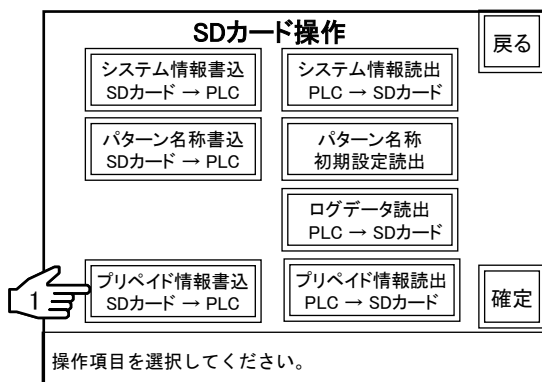
1. ログデータ読出を選択
タッチパネルの「ログデータ読出」を押してください。

2. ログデータ読出しを実行
「確定」を1秒以上長押ししてください。
ログデータを読出しSDカードに保存します。

3. ログデータ読出しを終了
「戻る」を押して終了してください。



SDカード操作 プリペイド情報書込

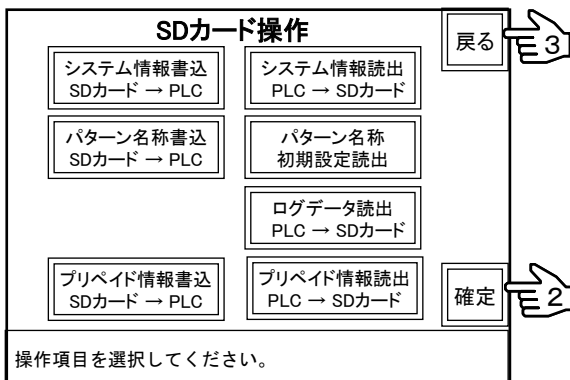


プリペイドの残ポイント情報の書き込みを行います

1. プリペイド情報書込を選択
タッチパネルの「プリペイド情報書込」を押してください。

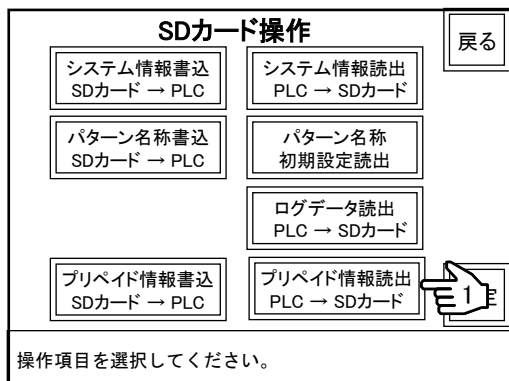
2. プリペイド情報書き込みを実行
「確定」を1秒以上長押ししてください。
プリペイド情報書き込みを行います。

3. プリペイド情報書き込みを終了
「戻る」を押して終了してください。



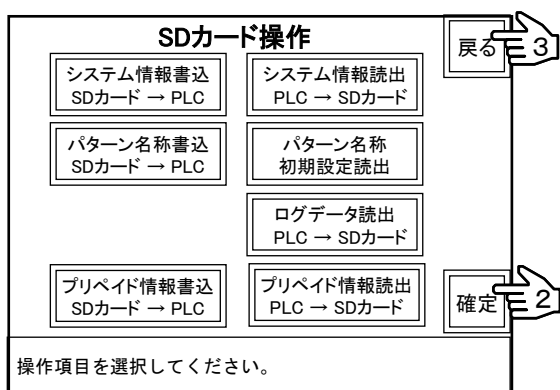
17 システム設定(つづき)

SDカード操作 プリペイド情報読出



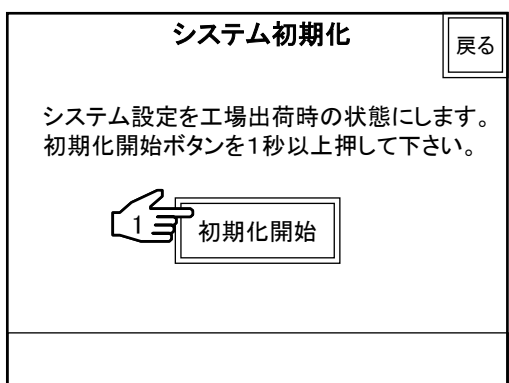
利用者番号の読出しを行います。

1. プリペイド情報読出を選択
タッチパネルの「プリペイド情報読出」を押してください。
2. プリペイド情報読出しを実行
「確定」を1秒以上長押ししてください。
プリペイド情報を読出しSDカードに保存します。



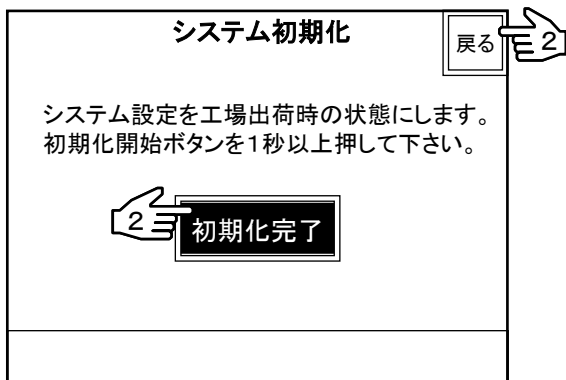
3. プリペイド情報読出しを終了
「戻る」を押して終了してください。

システム初期化



システムの初期化を行います。

1. システム初期化を選択
タッチパネルの「初期化開始」を1秒以上押してください。
システム設定が工場出荷時の設定になります。
2. システム初期化を終了
「戻る」を押して終了してください。



初期化時には、システム用のSDカードが必要になります。

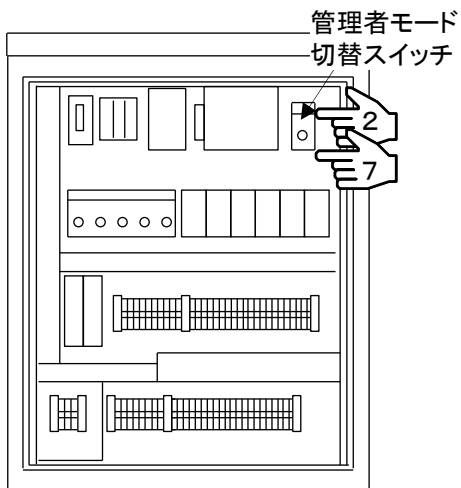
18 運用設定

運用方式の決定

運用方式を利用時間枠方式、ポイント利用方式、番号固定方式のいずれかの方式を選択してください。1日に複数団体の利用がある場合は利用時間枠方式を、1団体利用の場合は何時でも点灯を開始できるポイント利用方式がお勧めです。

また、利用者番号の生成方式を年月日指定、月日指定、日指定、日指定なしの4通りから選択してください。また利用者番号の桁数を4桁、5桁より選択することもできます。

設定項目の選択



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

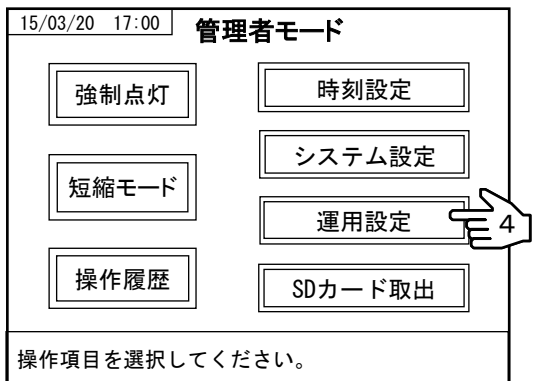
操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。



注意

- ・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
- ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。



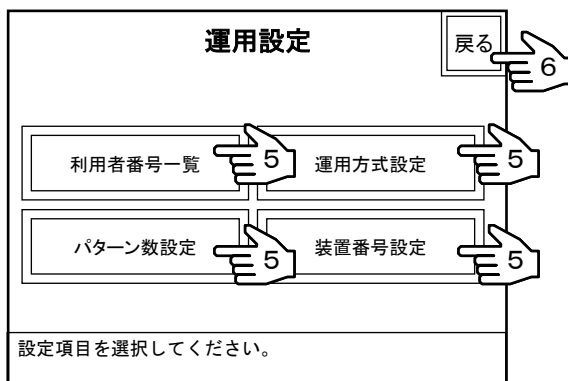
4. 運用設定を選択

タッチパネルの「運用設定」を押してください。運用設定画面が表示されます。

5. 設定項目を選択

タッチパネルから設定する項目を選択してください。設定操作可能な項目は下記のとおりです。

- 利用者番号一覧
利用者モードで使用する利用者番号の確認ができます
- 運用方式設定
運用方式を選択します。
- パターン数設定
運用の照明パターン数を設定します。
- 装置番号設定
複数の操作盤を使用する場合に設定します。



6. 運用設定の終了

「戻る」を押して、運用設定を終了してください。

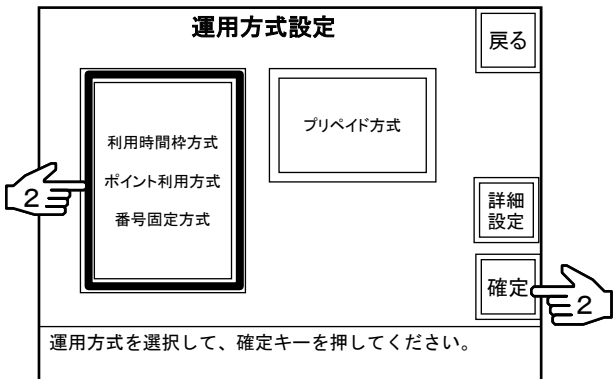
7. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

18 運用設定(つづき)

運用設定 運用方式設定



1. 運用方式の設定

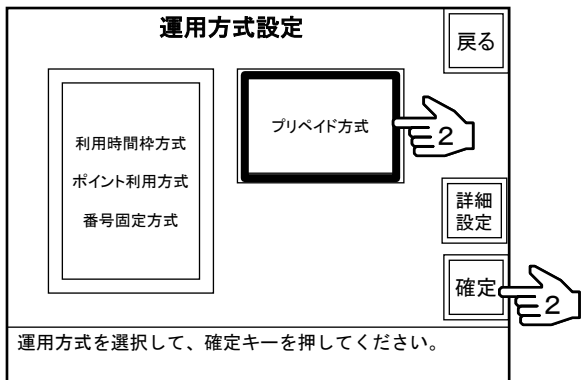
運用方式を選択してください。

2. 運用方式の選択

■利用時間枠方式・ポイント利用方式・番号固定方式
・利用時間枠方式、ポイント利用方式、番号固定方式
での運用になります。

■プリペイド方式
・プリペイド方式での運用になります。

「確定」を押してください。



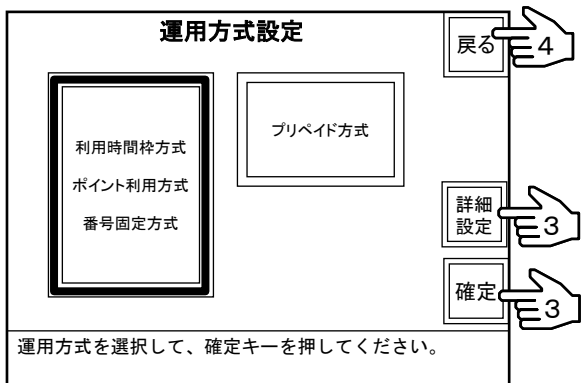
3. 詳細設定を選択

「利用時間枠方式、ポイント利用方式、番号固定方式」
「プリペイド方式」

選択した運用方式の詳細設定を行う場合は「詳細設定」を
押してください。

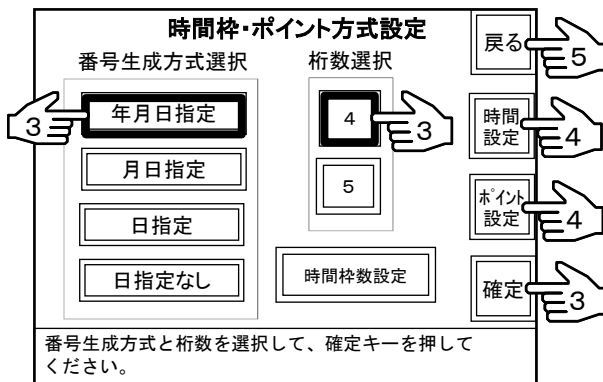
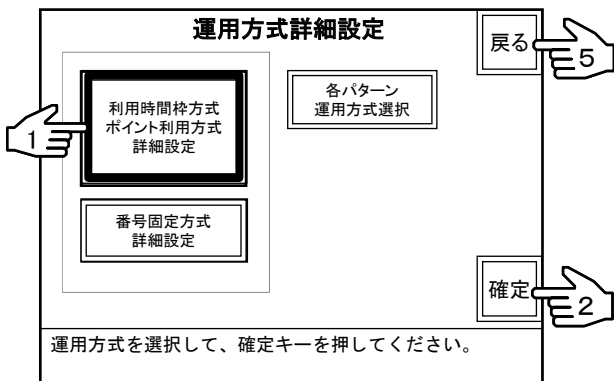
4. 運用方式設定の終了

「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。



18 運用設定(つづき)

運用設定 運用方式詳細設定(時間枠・ポイント方式設定)



1. 運用方式詳細の設定

詳細設定を行う場合は「利用時間枠方式、ポイント利用方式詳細設定」を選択してください。
(各パターン運用方式選択で、利用時間枠方式・ポイント利用方式を選択していない場合は設定できません。)

2. 利用時間枠方式、ポイント利用方式詳細設定を選択

「確定」を押してください。

3. 運用方式の設定

番号生成方式と桁数を選択してください。

4. 時間設定・ポイント設定を選択

■時間枠設定を行う場合は「時間設定」を押してください。
■ポイント設定を行う場合は「ポイント設定」を押してください。
(各パターン運用方式選択で選択している運用方式の選択項目のみ表示されます。)

5. 運用方式設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 時間帯設定変更

時間帯設定変更		戻る	1630		
	開始時刻 終了時刻		7	8	9
1	16:00 ~ 17:00	▲	1	5	6
02	17:00 ~ 18:00	▼	1	2	3
03	18:00 ~ 19:00	確定	0	ESC	ENT
04	19:00 ~ 20:00				
05	20:00 ~ 21:00				

開始時刻を入力してください。
例) 16:30の時は、1630と入力しENTキーを押してください。

1. 時間設定を選択

変更する時間枠を選択してください。
「▲・▼」を押すと、次ページが表示されます。

2. 時間枠の入力

変更する時間枠の時刻をテンキーで入力し「ENT」を押してください。

3. 時間枠の確定

「確定」を押してください。他の時間枠を変更する場合は手順1から3を繰り返してください。

4. 運用方式設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

運用設定 ポイント設定変更

ポイント設定変更		戻る	120		
	利用時間 ポイント		7	8	9
1	01 1:00 060	▲	1	5	6
02	02 1:00 060	▼	1	2	3
03	03 1:00 060	確定	0	ESC	ENT
04	04 1:00 060				
05	05 1:00 060				

利用ポイントを3桁の数値で入力してください。
例) 60ポイントの時は、060と入力しENTキーを押してください。

1. ポイント設定を選択

変更するポイント枠を選択してください。
「▲・▼」を押すと、次ページが表示されます。

2. ポイント数の入力

変更するポイント数をテンキーで入力し「ENT」を押してください。

3. ポイント数の確定

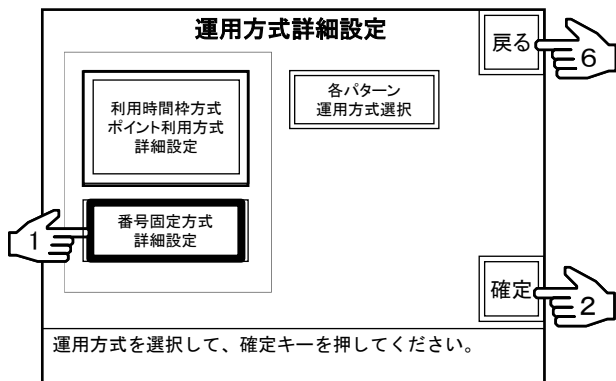
「確定」を押してください。他のポイント数を変更する場合は手順1から3を繰り返してください。

4. 運用方式設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 運用方式設定(番号固定方式)



1. 運用方式の詳細設定

詳細設定を行う場合は「番号固定方式詳細設定」を選択してください。
番号生成数は、各パターンにつき10通りになります。
(各パターン運用方式選択で、番号固定方式を選択していない場合は設定できません。)

2. 番号固定方式詳細設定を選択

「確定」を押してください。

3. 変更する番号固定枠を選択

変更する番号固定枠を選択してください。
「▲・▼」を押すと、次ページが表示されます。

4. 番号の入力

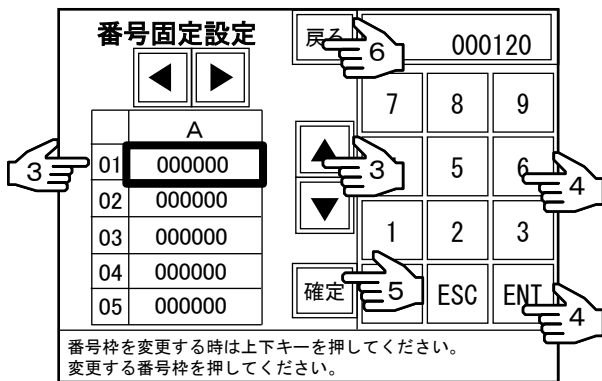
変更する番号をテンキーで入力し、「ENT」を押してください。
(6桁の番号が設定できます。また他で使用されている番号は重複して設定することはできません。)

5. 番号の確定

「確定」を押してください。他の番号を変更する場合は手順3から5を繰り返してください。

6. 運用方式設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。



18 運用設定(つづき)

運用設定 利用者番号一覧(利用時間枠方式)

利用者番号一覧

	A	開始時刻	終了時刻
01	4637	16:00	17:00
02	1591	18:00	18:00
03	5826	18:00	19:00
04	3699	19:00	20:00
05	4224	20:00	21:00

時間帯を変更する時は上下キーを、パターンを変更する時は左右キーを押してください。

1. 照明パターンと時間枠を選択
利用者番号を確認する照明パターンと時間枠を「▲・▼」、「◀・▶」を押して選択してください。
2. 利用者番号の確認
利用者番号を確認してください。
3. 利用者番号一覧の終了
「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

運用設定 利用者番号一覧(ポイント利用方式)

利用者番号一覧

	A	利用時間	ポイント
01	4637	1:00	060
02	1591	1:00	060
03	5826	1:00	060
04	3699	1:00	060
05	4224	1:00	060

時間帯を変更する時は上下キーを、パターンを変更する時は左右キーを押してください。

1. 照明パターンと時間枠を選択
利用者番号を確認する照明パターンとポイント枠を「▲・▼」、「◀・▶」を押して選択してください。
2. 利用者番号の確認
利用者番号を確認してください。
3. 利用者番号一覧の終了
「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

運用設定 利用者番号一覧(番号固定方式)

利用者番号一覧

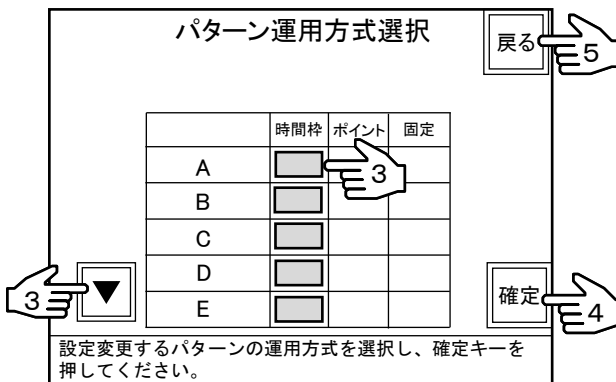
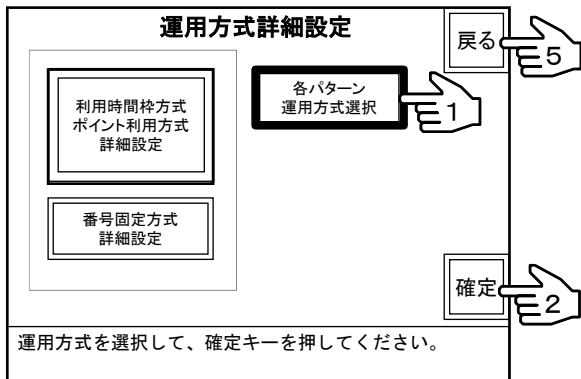
	A	番号固定
01	463700	
02	015901	
03	580026	
04	369925	
05	422442	

表示位置を変更する時は上下キーを、パターンを変更する時は左右キーを押してください。

1. 照明パターンと時間枠を選択
利用者番号を確認する照明パターンと番号枠を「▲・▼」、「◀・▶」を押して選択してください。
2. 利用者番号の確認
利用者番号を確認してください。
3. 利用者番号一覧の終了
「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 運用方式設定(各パターン運用方式選択)



1. 各パターン運用方式選択の設定

運用方式の選択を行う場合は「各パターン運用方式選択」を選択してください。

2. 各パターン運用方式選択を選択

「確定」を押してください。

3. 変更するパターン運用方式を選択

変更するパターンの運用方式を選択してください。
ページ内の複数の項目を一度に変更できます。
「▲・▼」を押すと、次ページが表示されます。

4. パターン運用方式の確定

「確定」を押してください。パターン運用方式を再度変更する場合は手順3から4を繰り返してください。

5. 各パターン運用方式選択設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 時間枠数設定

時間枠・ポイント方式設定

番号生成方式選択 桁数選択

年月日指定 4

月日指定 5

日指定

日指定なし

時間枠数設定

戻る 時間設定 ポイント設定 確定

番号生成方式と桁数を選択して、確定キーを押してください。

時間枠数設定

戻る 4

時間枠数: 21

7	8	9	
4	5	6	
1	2	3	
確定	0	ESC	ENT

設定する項目を押してください。

時間枠数設定

戻る 4 25

時間枠数: 25

7	8	9	
4	5	6	
1	2	3	
確定	0	ESC	ENT

テンキーにて01～50までの任意の数値を入力しENTキーを押してください。

1. 時間枠数の設定

時間枠数の設定を行う場合は「時間枠数設定」を選択してください。

2. 設定値を入力

テンキーから設定値を2桁で入力してください。数値を入力し、「ENT」を押してください。(2桁 = 01～50までの数値)

3. 設定値を確定

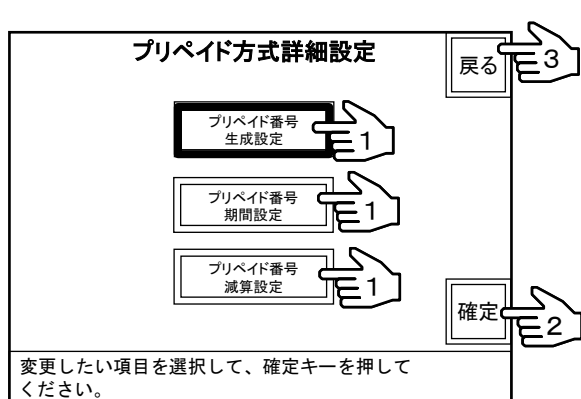
入力が正しければ、「確定」を押してください。確定を押さないと、設定値は変更されません。

4. 時間枠数設定の終了

「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 運用方式詳細設定(プリペイド方式)



1. プリペイド方式詳細設定の選択

タッチパネルから設定する項目を選択してください。
選択可能な項目は下記のとおりです。

- プリペイド番号生成設定
- プリペイド番号期間設定
- プリペイド番号減算設定

2. プリペイド方式詳細設定の確定

「確定」を押してください。

3. プリペイド方式詳細設定の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 プリペイド番号生成設定(設定ポイント)

プリペイド番号生成設定

設定ポイント	作成個数	任意番号	戻る	0500		
1000	100	1000		7	8	9
2000	100	2000		4	5	6
3000	100	3000		1	2	3
4000	100	4000			ESC	ENT
5000	100	5000	確定			

設定ポイントを4桁の数値で入力してください。
例) 5000ポイントの時は、0500と入力しENTキーを押してください

1. 設定ポイントを選択

変更する設定ポイントを選択してください。

2. ポイント数の入力

変更するポイント数をテンキーで入力し「ENT」を押してください。

3. ポイント数の確定

「確定」を1秒以上長押ししてください。
他のポイント数を変更する場合は、手順1から3を繰り返してください。

4. プリペイド番号生成設定の終了

「戻る」を押して、プリペイド方式詳細設定に戻ってください。

プリペイド番号生成設定

設定ポイント	作成個数	任意番号	戻る			
0500	100	1000		7	8	9
2000	100	2000		4	5	6
3000	100	3000		1	2	3
4000	100	4000			ESC	ENT
5000	100	5000	確定	0		

変更する設定ポイント・作成個数・任意番号を押してください。

運用設定 プリペイド番号生成設定(作成個数)

プリペイド番号生成設定

設定ポイント	作成個数	任意番号	戻る	050		
100	100	1000		7	8	9
2000	100	2000		4	5	6
3000	100	3000		1	2	3
4000	100	4000			ESC	ENT
5000	100	5000	確定			

作成個数を3桁の数値で入力してください。
例) 作成数100の時は、100と入力しENTキーを押してください

1. 作成個数を選択

変更する作成個数を選択してください。

2. 作成個数の入力

変更する作成個数をテンキーで入力し「ENT」を押してください。
(作成個数は、合計で1～500の範囲内にしてください。)

3. 作成個数の確定

「確定」を1秒以上長押ししてください。
他の作成個数を変更する場合は、手順1から3を繰り返してください。
(合計個数が、1～500の範囲内でない「確定」を押すことができません。)

4. プリペイド番号生成設定の終了

「戻る」を押して、プリペイド方式詳細設定に戻ってください。

プリペイド番号生成設定

設定ポイント	作成個数	任意番号	戻る			
0500	100	1000		7	8	9
2000	100	2000		4	5	6
3000	100	3000		1	2	3
4000	100	4000			ESC	ENT
5000	100	5000	確定	0		

変更する設定ポイント・作成個数・任意番号を押してください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 プリペイド番号生成設定(任意番号)

プリペイド番号生成設定 戻る 50

設定ポイント	作成個数	任意番号
1000	1	50
2000	100	2000
3000	100	3000
4000	100	4000
5000	100	5000

確定 ESC ENT

任意番号を2~4桁の数値で入力してください。
例) 任意番号10の時は、10と入力しENTキーを押してください

プリペイド番号生成設定 戻る

設定ポイント	作成個数	任意番号
0500	100	1000
2000	100	2000
3000	100	3000
4000	100	4000
5000	100	5000

確定 0 ESC ENT

変更する設定ポイント・作成個数・任意番号を押してください。

1. 任意番号を選択

変更する任意番号を選択してください。

2. 任意番号の入力

変更する任意番号をテンキーで入力し「ENT」を押してください。
(任意番号は、2~4桁の番号が設定できます。)

3. 任意番号の確定

「確定」を1秒以上長押ししてください。
他の任意番号を変更する場合は、手順1から3を繰り返してください。


4. プリペイド番号生成設定の終了

「戻る」を押して、プリペイド方式詳細設定に戻ってください。


18 運用設定(つづき)

運用設定 プリペイド番号期間設定


プリペイド方式詳細設定

戻る 

プリペイド番号生成設定

プリペイド番号期間設定 

プリペイド番号減算設定

確定 

変更したい項目を選択して、確定キーを押してください。

1. プリペイド番号期間設定の選択

詳細設定を行う場合は「プリペイド番号期間設定」を選択してください。


2. プリペイド番号期間設定の確定


「確定」を押してください。

3. 開始月の確定


開始月を＋キーで選択し、確定してください。

プリペイド番号期間設定

戻る 

開始月: - 04 + 

期間: 6ヶ月 1年

確定 

期限と開始月を選択してください。
利用者番号は開始月を基点に期限の半期毎に作成されます。


4. 期間の確定

期間を選択し、「確定」を押してください。


5. プリペイド番号期間の終了

「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。


プリペイド番号期間設定

戻る 

開始月: - 04 +

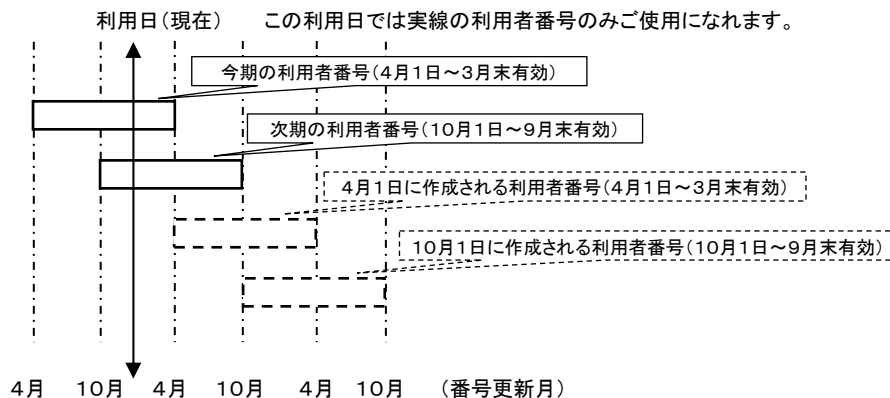
期間: 6ヶ月 1年 

確定を長押しで実行。
※実行するとポイントは初期化されます。

確定 

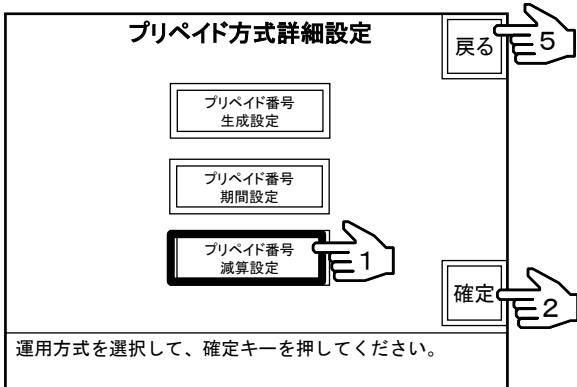
期限と開始月を選択してください。
利用者番号は開始月を基点に期限の半期毎に作成されます。

■ 開始月を4月、期間を1年として10月に作成した場合

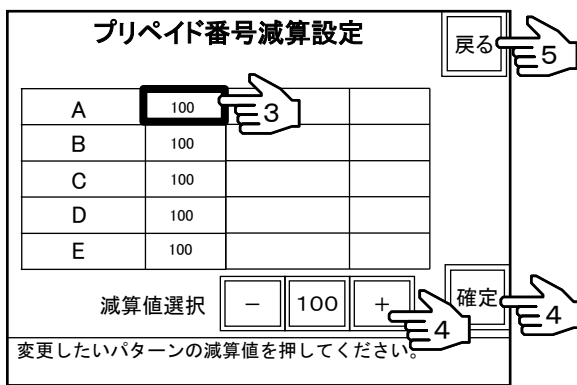


18 運用設定(つづき)

運用設定 プリペイド番号減算設定

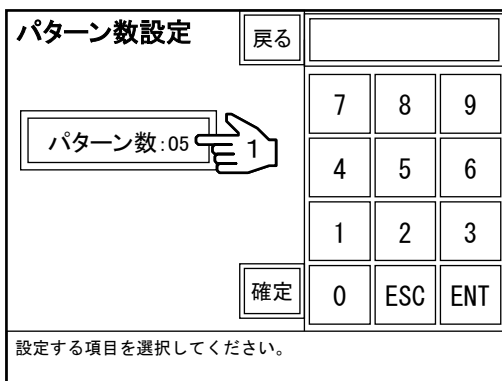


1. プリペイド番号減算設定の選択
詳細設定を行う場合は「プリペイド番号減算設定」を選択してください。
2. プリペイド番号減算設定の確定
「確定」を押してください。
3. 減算値を変更したいパターンを選択
減算値を変更したいパターンを選択してください。

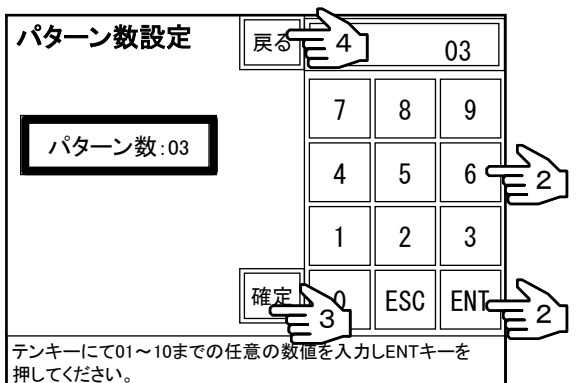


4. 減算値の選択
減算値を＋キーで選択し、確定してください。
(減算値は、100で1分間1ポイント利用になります。
10の場合だと、1分間0.1ポイント利用、
1000の場合だと、1分間10ポイント利用になります。
選択項目は、10、20、30、40、50、60、70、80、
90、100、150、200、250、300、400、500、
1000の17通りの選択ができます。)
5. プリペイド番号減算設定の終了
「戻る」を押して、運用方式設定に戻ってください。

運用設定 パターン数



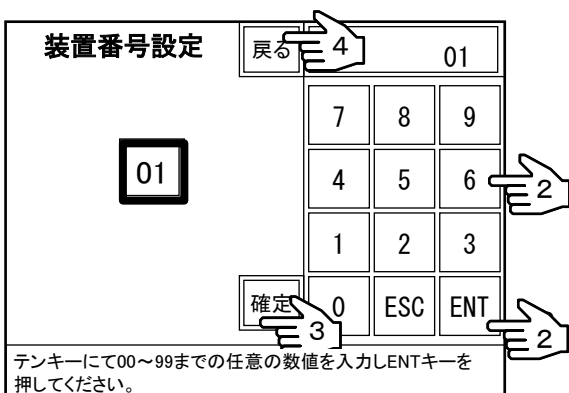
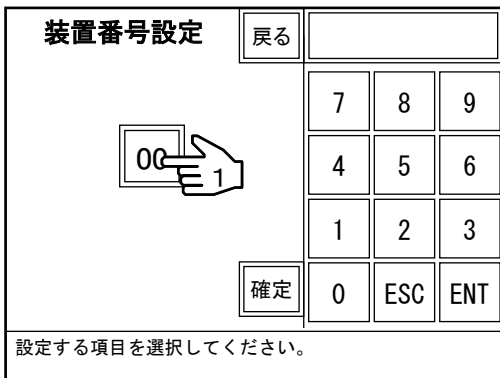
1. 設定する項目の選択
■パターン数(01~10)
2. 設定値を入力
テンキーから設定値を入力してください。
数値を入力し、「ENT」を押してください。
3. 設定値を確定
入力が正しければ、「確定」を押してください。
確定を押さないと、設定値は変更されません。



4. パターン数設定の終了
「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

18 運用設定(つづき)

運用設定 装置番号設定



1. 設定する項目の選択

■装置番号(00～99)

装置番号は、同一施設内で2台以上の操作盤を使用する場合に設定してください。設定しないと、同じ利用者番号が設定されます。

2. 設定値を入力

テンキーから設定値を入力してください。
数値を入力し、「ENT」を押してください。

3. 設定値を確定

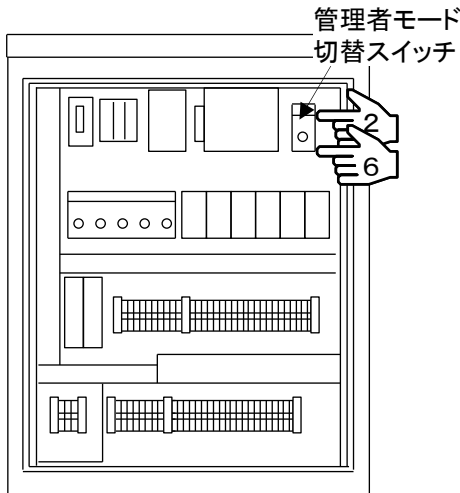
入力が正しければ、「確定」を押してください。
確定を押さないと、設定値は変更されません。

4. 装置番号設定の終了

「戻る」を押して、運用設定に戻ってください。

19 SDカード取出

設定項目の選択



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

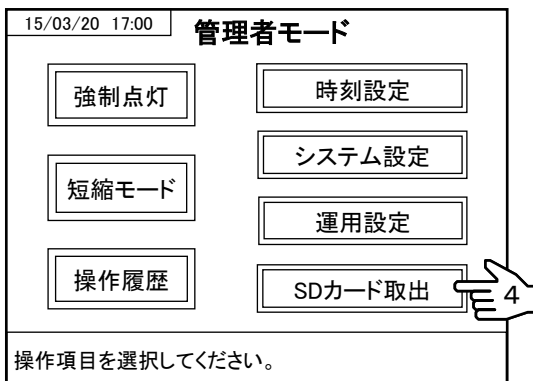
操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。



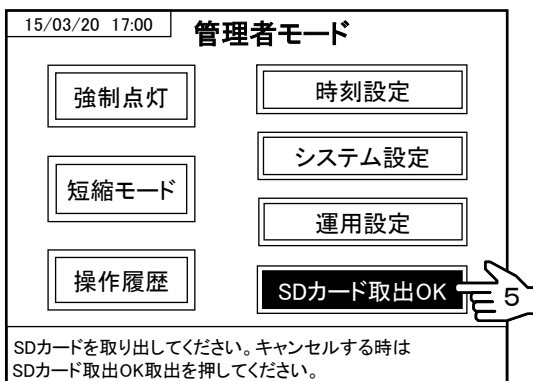
4. SDカード取出を選択

タッチパネルの「SDカード取出」を押してください。SDカード取出画面が表示されます。

管理扉を開け、タッチパネル背面からみて左側面に装着されているSDカードを取り出してください。

5. SDカード取出を終了する

「SDカード取出」を押して、SDカード取出を終了してください。



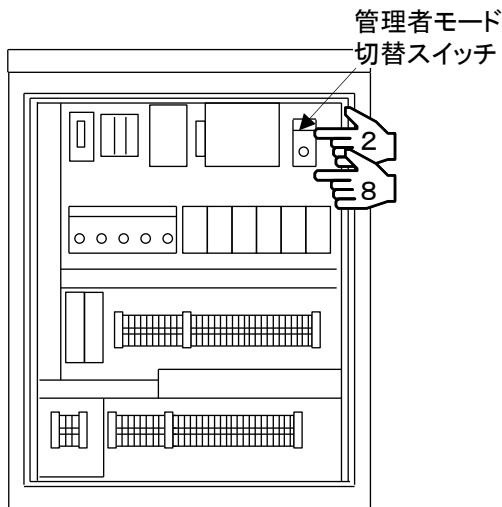
6. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

20 強制操作

強制点灯について



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

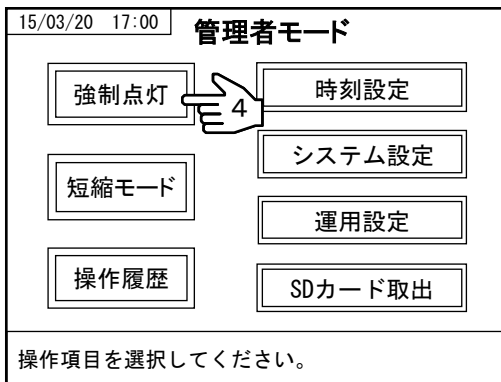
3. 操作扉を開く

操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。

注意

- ・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
- ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

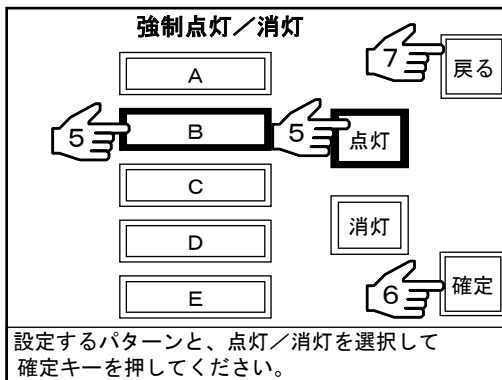


4. 強制点灯を選択

タッチパネルの「強制点灯」を押してください。強制点灯／消灯画面が表示されます。

5. 点灯するパターンを選択

タッチパネルの「点灯」を押し、点灯する照明パターンを選択してください。
(点灯中に他のパターンも選択可能です)



6. 点灯を確定する

選択した照明パターンを点灯する場合は、「確定」を押してください。選択を変更する場合は、再度照明パターンを選択してください。同時に複数の照明パターンを選択することも可能です。

選択した照明パターンの照明が点灯します。

- A は消灯状態を表します
- A は選択状態を表します
- A は点灯状態を表します
- A ← 強制点灯
- A ← 短縮モード設定中

7. 強制点灯を終了する

「戻る」を押して、強制点灯を終了してください。他のパターンを強制点灯をする場合は、5から7を繰り返してください。

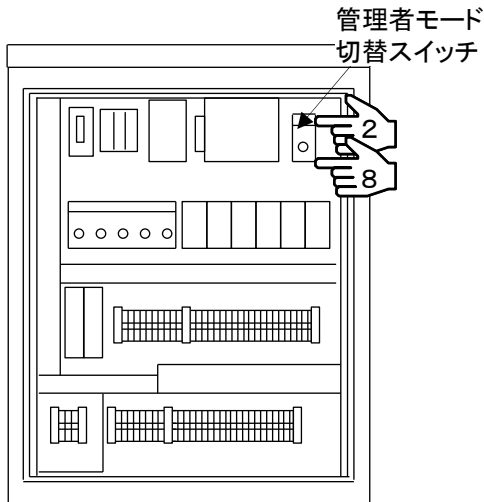
8. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

20 強制操作(つづき)

強制消灯について



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

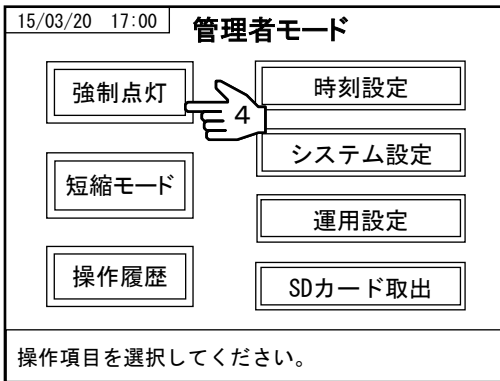
3. 操作扉を開く

操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。

注意

- ・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようご注意ください。
- ・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

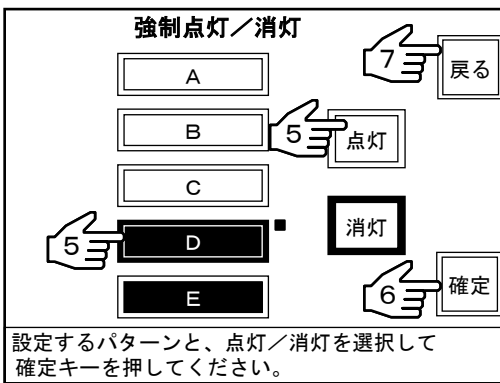


4. 強制点灯を選択

タッチパネルの「強制点灯」を押してください。強制点灯／消灯画面が表示されます。

5. 消灯するパターンを選択

タッチパネルの「消灯」を押し、消灯する照明パターンを選択してください。通常点灯している照明パターンも選択可能です。(点灯中に他のパターンも選択可能です)



6. 消灯を確定する

選択した照明パターンを消灯する場合は、「確定」を押してください。選択を変更する場合は、再度照明パターンを選択してください。同時に複数の照明パターンを選択することも可能です。

選択した照明パターンの照明がサービスタイム経過後消灯します。

- A は消灯状態を表します
 - A は選択状態を表します
 - A は点灯状態を表します
-
- A ← 強制点灯
 - A ← 短縮モード設定中

7. 強制点灯を終了する

「戻る」を押して、強制点灯を終了してください。他のパターンを強制点灯をする場合は、5から7を繰り返してください。

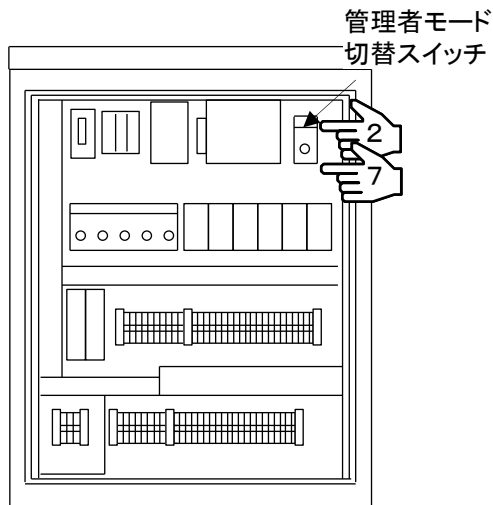
8. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

21 短縮設定

短縮モード設定



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

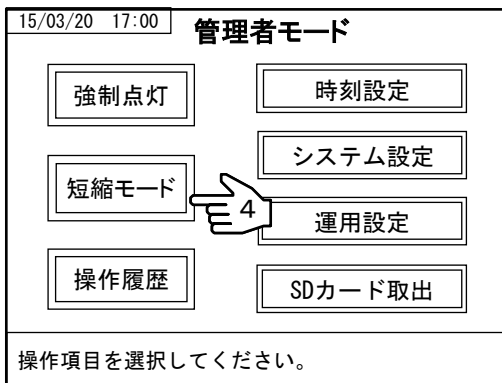
操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。

⚠ 注意	・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようご注意ください。
	・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

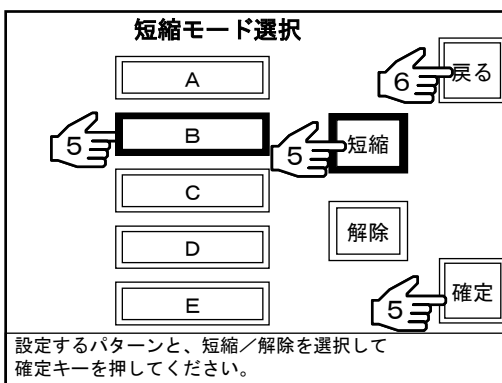


4. 短縮モードを選択

タッチパネルの「短縮モード」を押してください。短縮モードの設定画面が表示されます。

5. 短縮モードを選択

短縮モードに設定するパターンと「短縮」を選択し、「確定」を押してください。解除する場合はパターンと「解除」を選択し「確定」ボタンを押してください。



6. 短縮モードを終了

短縮モード設定を終了するために、「戻る」を押してください。

7. 管理者モードの終了

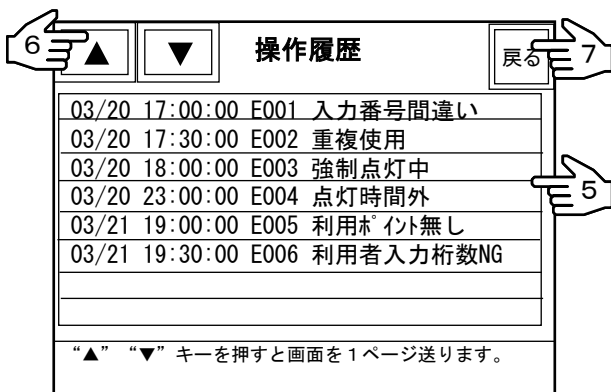
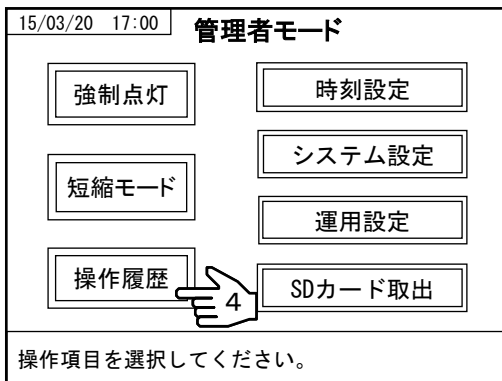
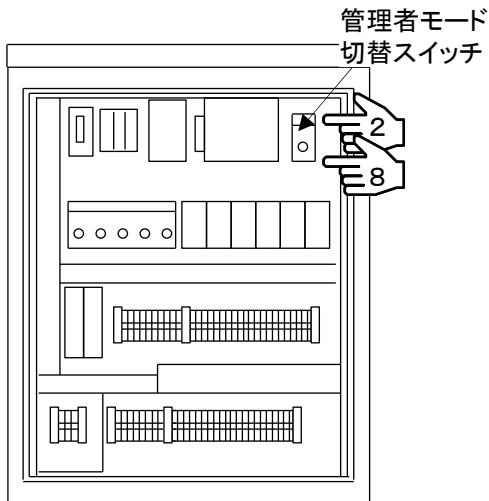
管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

- B は消灯状態を表します
- B は選択状態を表します
- B は点灯状態を表します
- B ← 強制点灯
- B ← 短縮モード設定中

22 操作履歴

操作履歴について



1. 管理扉を開く

2. 管理者モードに切り替える

操作盤内部の管理者モード切替スイッチを「ON」側に倒してください。表示部が管理者モードの表示になります。

3. 操作扉を開く

操作可能時間帯でない場合も、操作扉のロックが解除されます。

- 操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、操作中は手で開けておいてください。



注意

・操作扉は手を離すと自動的に閉まりますので、手を挟まないようにご注意ください。
・又、操作扉は過度に開き過ぎると扉傷や破損の恐れがあります。

4. 操作履歴を選択

タッチパネルの「操作履歴」を押してください。操作履歴画面が表示されます。

5. 内容の確認

タッチパネルの「操作履歴」を押してください。利用者の操作履歴が画面表示されます。エラー内容と発生時刻が確認できます。主なエラーは

- E001: 利用できる番号として登録されていない
- E002: 点灯するパターン他の利用者により点灯中
- E003: 点灯するパターンが強制点灯中
- E004: 利用できる時間帯を過ぎている
- E005: 利用できるポイントが0である
- E006: 利用できない番号である

6. 画面をページ送りする

▲▼を押すと、画面を1ページ送ります。

7. 操作履歴を終了する

「戻る」を押して、操作履歴を終了してください。

8. 管理者モードの終了

管理者モードを終了する場合は、管理者モード切替スイッチを「OFF」側に倒してください。

利用可能時間帯であれば、通常画面が表示されます。利用可能時間帯でない場合は、「操作可能時間外です。」と表示され、操作扉がロックされます。

23 管理ツール

■ 管理ツールインストール手順

- ①システム情報を操作盤から読み出します。「17. SDカード操作 システム情報読出」参照
- ②SDカードを操作盤のタッチパネルから取り外します。「19.SDカード取出」参照
- ③管理用PCのデスクトップに新規フォルダを作成します。フォルダ名は施設名としてください。

例：施設名を「システムA」として説明します。

複数施設を1台のPCで管理する場合は、施設ごとにフォルダを作成してください。



管理用PC



- ④SDカードを管理用PCにセットしてください。

SDカードに「gt_log」と「gt_recipe」と「管理ツール」の3個のフォルダがあることを確認してください。

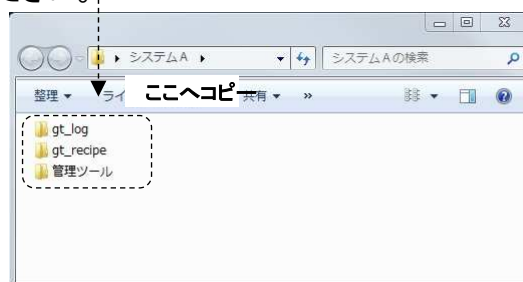


管理用PC

SD
カード

- ⑤SDカード内の3個のフォルダをコピー（ドラッグ & ドロップ）してください。

複数施設管理の場合は、各フォルダに施設ごとのSDカードデータをコピーしてください。
新フォルダ「システムA」に「gt_log」と「gt_recipe」と「管理ツール」の3個のフォルダがコピーされたことを確認してください。



- ⑥準備は完了です。

- ⑦SDカードは操作盤に戻してください。（施設ごとのタッチパネルに装着してください。）

23 管理ツール

■プリペイド方式使用時、利用者ポイント情報の保存手順

- ①利用者ポイントデータを操作盤から読みます。「17. SDカード操作 プリペイド情報読み」参照
- ②SDカードを操作盤のタッチパネルから取り外します。「19.SDカード取り出し」参照
- ③読み出されたデータを管理用PCのデスクトップに作成した管理ツールインストールフォルダにコピーします。

例：施設名を「システムA」として説明します。

複数施設を1台のPCで管理している場合は、施設ごとのフォルダを選択してください。



管理用PC

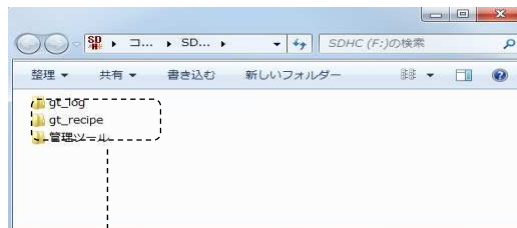


- ④SDカードを管理用PCにセットしてください。

SDカードに「gt_log」と「gt_recipe」と「管理ツール」の3つのフォルダがあることを確認してください。

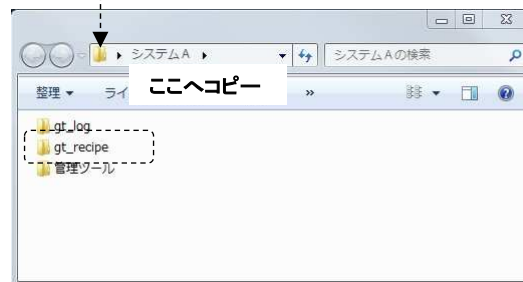


管理用PC



- ⑤SDカード内の「gt_recipe」のフォルダをコピー（ドラッグ & ドロップ）してください。

複数施設管理の場合は、各フォルダに施設ごとのSDカードデータをコピーしてください。
フォルダ「システムA」に「gt_recipe」のフォルダがコピーされます。



- ⑥コピー中に上書きの確認を求められた場合は、「はい」を選択してください。



- ⑦SDカードは操作盤に戻してください。（施設ごとのタッチパネルに装着してください。）

23 管理ツール

■ログファイル保存手順

- ①ログデータを操作盤から読み出します。「17. SDカード操作 ログデータ読み出し」参照
- ②SDカードを操作盤のタッチパネルから取り外します。「19.SDカード取り出し」参照
- ③読み出したデータを管理用PCのデスクトップに作成した管理ツールインストールフォルダにコピーします。

例：施設名を「システムA」として説明します。

複数施設を1台のPCで管理している場合は、施設ごとのフォルダを選択してください。



管理用PC

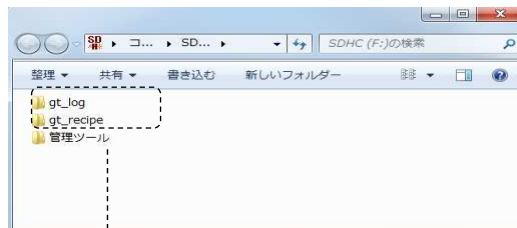


- ④SDカードを管理用PCにセットしてください。

SDカードに「gt_log」と「gt_recipe」と「管理ツール」の3つのフォルダがあることを確認してください。

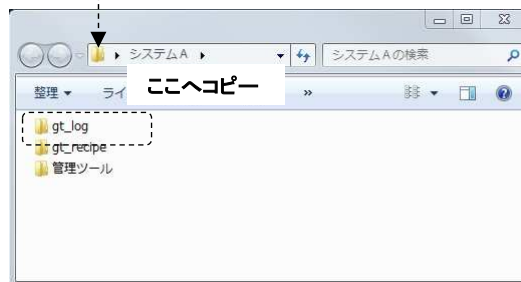


管理用PC



- ⑤SDカード内の「gt_log」のフォルダをコピー（ドラッグ & ドロップ）してください。

複数施設管理の場合は、各フォルダに施設ごとのSDカードデータをコピーしてください。
フォルダ「システムA」に「gt_log」のフォルダがコピーされます。




- ⑥コピー中に上書きの確認を求められた場合は、「はい」を選択してください。

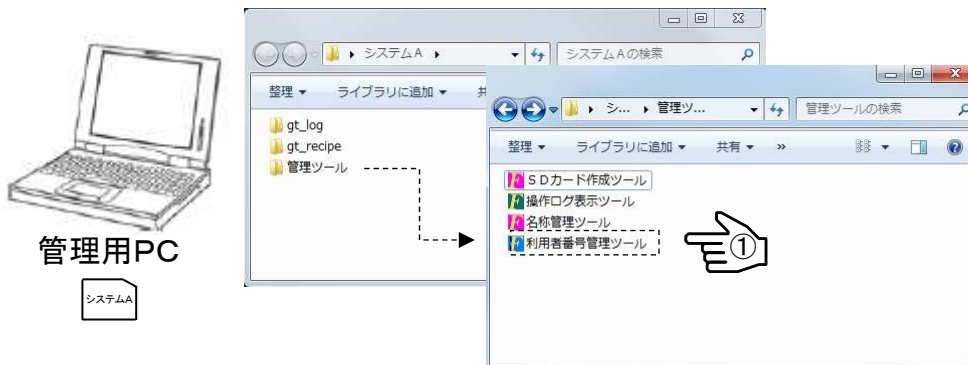


- ⑦SDカードは操作盤に戻してください。（施設ごとのタッチパネルに装着してください。）

24 利用者番号管理

■利用者番号管理の操作方法

- ①管理者用PCのデスクトップのフォルダ「システムA」を開いてください。
フォルダ「管理ツール」内の  利用者番号管理ツール をダブルクリックし、起動してください。



- ②利用者番号管理ツールのトップページが表示されます。
管理ツール終了するときは、「終了」を押してください。



- ③利用者番号の確認
「表示開始」を押すと、本日の利用者番号一覧が表示されます。
番号表示を終了するときは、「戻る」を押すとトップページに戻ります。



No.	開始 - 終了	A	B	C	D	E								
1	16:00 - 17:00	8918	8520	0083	3962	3555								
2	17:00 - 18:00	8500	9093	4672	4535	8047								
3	18:00 - 19:00	7013	1622	1585	6067	9671								
4	19:00 - 20:00	2602	2595	5877	7621	7586								
5	20:00 - 21:00	8515	0827	3601	3596	2879								
6	21:00 - 22:00	9807	4641	4516	8829	0684								
7	16:00 - 18:00	1661	1256	6809	9694	9278								
8	17:00 - 19:00	2236	5849	7614	7228	1880								
9	18:00 - 20:00	0869	3154	3208	2890	5173								
10	19:00 - 21:00	4134	4248	8810	0123	0282								
11	20:00 - 22:00	1268	6450	9103	9292	4475								
12	16:00 - 19:00	5430	7143	7212	1425	6187								
13	17:00 - 20:00	3163	3352	2405	5197	5211								
14	18:00 - 21:00	4332	8445	0117	0351	3406								
15	19:00 - 22:00	6465	6757	9331	4446	8119								
16	16:00 - 20:00	5737	7381	1466	1759	6304								
17	17:00 - 21:00	3391	2976	2739	5344	7418								
18	18:00 - 22:00	8926	8789	0364	3958	3700								
19	16:00 - 21:00	6799	9074	4938	4740	8313								
20	17:00 - 22:00	7024	1988	1760	6053	9902								
21	16:00 - 22:00	2988	2570	5033	7942	7715								

24 利用者番号管理(つづき)

④利用者番号の確認

例: 利用時間枠方式 年月日指定方式 4桁

(利用時間枠方式を運用方式で選択していない場合は選択できません。)

利用時間枠方式のタブを選択すると、本日の日付に対応した利用者番号が表示されます。番号表示を終了するとき、「戻る」を押すとトップページに戻ります。

また、他の運用方式を表示したい場合は、表示したい運用方式のタブを選択してください。

No.	開始 - 終了	A	B	C	D	E
1	16:00 - 17:00	8918	8520	0083	3962	3555
2	17:00 - 18:00	8500	9093	4672	4535	8047
3	18:00 - 19:00	7013	1822	1585	6067	9671
4	19:00 - 20:00	2602	2595	5877	7821	7586
5	20:00 - 21:00	8515	0827	3601	3586	2879
6	21:00 - 22:00	9807	4641	4516	8829	0684
7	16:00 - 18:00	1861	1256	6809	9694	9278
8	17:00 - 19:00	2236	5849	7614	7228	1880
9	18:00 - 20:00	0869	3154	3208	2890	5173
10	19:00 - 21:00	4134	4248	8810	0123	0282
11	20:00 - 22:00	1268	6450	9103	9292	4475
12	16:00 - 19:00	5430	7143	7212	1425	6187
13	17:00 - 20:00	3163	3352	2405	5197	5211
14	18:00 - 21:00	4332	8445	0117	0351	3406
15	19:00 - 22:00	6465	6757	9331	4446	8119
16	16:00 - 20:00	5737	7381	1466	1759	6304
17	17:00 - 21:00	3391	2976	2739	5344	7418
18	18:00 - 22:00	8926	8789	0364	3958	3700
19	16:00 - 21:00	6799	9074	4938	4740	8313
20	17:00 - 22:00	7024	1988	1760	6053	9902
21	16:00 - 22:00	2998	2570	5033	7942	7715

⑤年月日指定で他の日付の利用者番号が確認できます。

No.	開始 - 終了	A	B	C	D	E
1	16:00 - 17:00	8918	8520	0083	3962	3555
2	17:00 - 18:00	8500	9093	4672	4535	8047
3	18:00 - 19:00	7013	1822	1585	6067	9671
4	19:00 - 20:00	2602	2595	5877	7821	7586
5	20:00 - 21:00	8515	0827	3601	3586	2879
6	21:00 - 22:00	9807	4641	4516	8829	0684
7	16:00 - 18:00	1861	1256	6809	9694	9278
8	17:00 - 19:00	2236	5849	7614	7228	1880
9	18:00 - 20:00	0869	3154	3208	2890	5173
10	19:00 - 21:00	4134	4248	8810	0123	0282
11	20:00 - 22:00	1268	6450	9103	9292	4475
12	16:00 - 19:00	5430	7143	7212	1425	6187
13	17:00 - 20:00	3163	3352	2405	5197	5211
14	18:00 - 21:00	4332	8445	0117	0351	3406
15	19:00 - 22:00	6465	6757	9331	4446	8119
16	16:00 - 20:00	5737	7381	1466	1759	6304
17	17:00 - 21:00	3391	2976	2739	5344	7418
18	18:00 - 22:00	8926	8789	0364	3958	3700
19	16:00 - 21:00	6799	9074	4938	4740	8313
20	17:00 - 22:00	7024	1988	1760	6053	9902
21	16:00 - 22:00	2998	2570	5033	7942	7715

24 利用者番号管理(つづき)

⑥他の運用方式の利用者番号を確認する場合

例:ポイント利用方式 年月日指定方式 4桁

(ポイント利用方式を運用方式で選択していない場合は選択できません。)

ポイント利用方式のタブを選択すると、本日の日付に対応した利用者番号が表示されます。

番号表示を終了するときには、「戻る」を押すとトップページに戻ります。

また、他の運用方式を表示したい場合は、表示したい運用方式のタブを選択してください。

No.	利用時間: ポイント	F	G	H
1	1:00 80	2007	5941	5716
2	1:00 80	0961	0556	3009
3	1:00 80	9536	4049	8914
4	1:00 80	1069	6654	6508
5	1:00 80	5634	5548	7010
6	1:00 80	0568	3850	2603
7	2:00 120	4830	8643	8512
8	2:00 120	8663	6252	9805
9	2:00 120	5232	7845	1617
10	2:00 120	3865	2157	2231
11	2:00 120	8137	8281	0866
12	3:00 180	6291	9476	4139
13	3:00 180	7426	1189	1264
14	3:00 180	2199	2374	5438
15	3:00 180	8324	0488	3160
16	4:00 240	9498	9770	4333
17	4:00 240	7720	1383	6462
18	4:00 240	2393	5972	5735
19	5:00 300	0922	0785	3367
20	5:00 300	9795	4077	8921
21	6:00 360	1027	8901	6796

⑦年月日指定で他の日付の利用者番号が確認できます。

24 利用者番号管理(つづき)

⑧他の運用方式の利用者番号を確認する場合

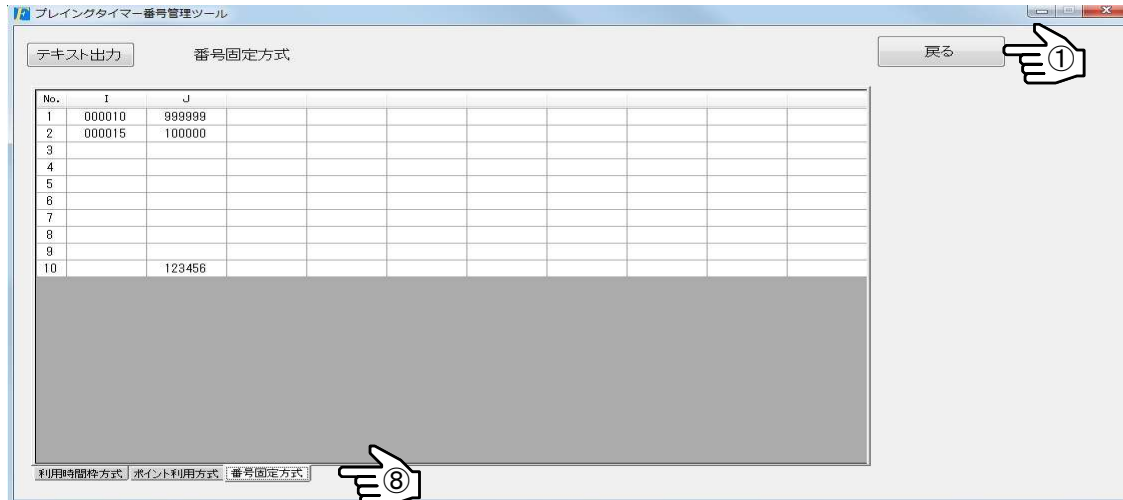
例: 番号固定方式

(番号固定方式を運用方式で選択していない場合は選択できません。)

番号固定方式のタブを選択すると、任意に設定した利用者番号が表示されます。

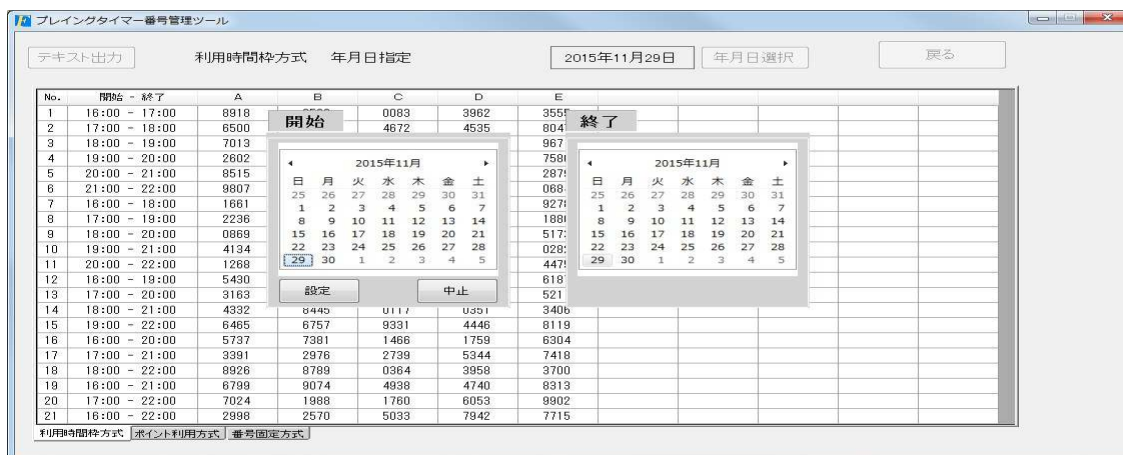
番号表示を終了するとき、「戻る」を押すとトップページに戻ります。

また、他の運用方式を表示したい場合は、表示したい運用方式のタブを選択してください。



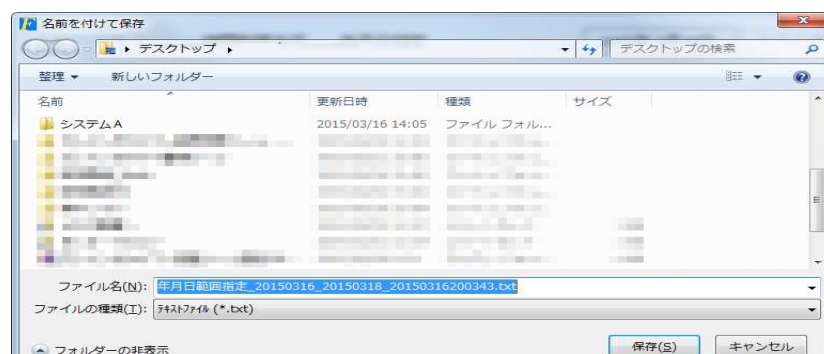
⑨利用者番号を期間指定でテキストファイルに出力できます。

メモ帳やエクセルを利用して利用者番号の確認や印刷ができます。




⑩保存先、ファイル名を変更できます。

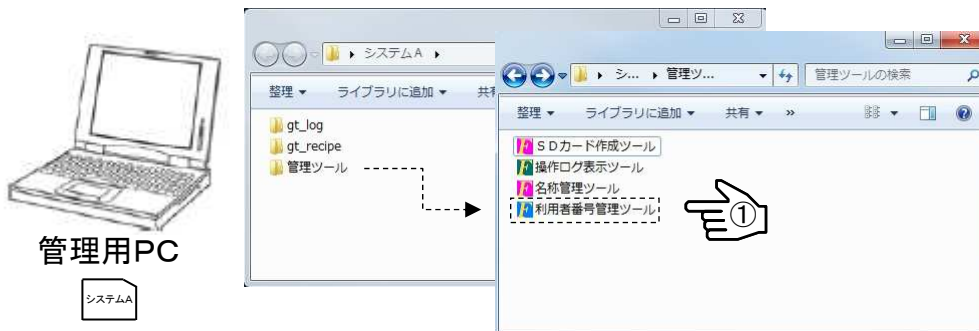
(保存ファイルは、選択している運用方式単位で作成されます。)



25 プリペイド利用者番号管理

■プリペイド利用者番号管理の操作方法

- ①管理者用PCのデスクトップのフォルダ「システムA」を開いてください。
フォルダ「管理ツール」内の  利用者番号管理ツール をダブルクリックし、起動してください。



利用者のポイント情報は装置側で管理しています。万一の故障などが発生した場合には、前回の保存時の利用者ポイント情報までしか戻すことができません。こまめに利用者ポイント情報のバックアップを保存するようにしてください。
(バックアップ方法は、ページ60 利用者ポイント情報の保存をご参照ください。)

- ②プリペイド利用者番号管理ツールのトップページが表示されます。
管理ツール終了するときは、「終了」を押してください。



- ③「番号表示」を押すとプリペイド利用者番号一覧が表示されます。
番号表示を終了するときは、「戻る」を押すとトップページに戻ります。



25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

④プリペイド利用者番号の確認

例:設定ポイント 1000 開始月 4月 期間 1年

開始月と期間、本日の日付に対応した利用者番号が表示されます。

番号表示を終了するとき、「戻る」を押すとトップページに戻ります。

また、他のポイント枠を表示したい場合は、表示したいポイント枠のタブを選択してください。

プレイングタイマープリペイド利用者番号管理ツール システムA

テキスト出力 ポイント変更 備考変更 コピー日付 2016年 2月 5日 戻る

プリペイド開始月 1月 2016年 2月 5日 プリペイド期間 6ヶ月

済	No.	利用者番号	ポイント	開始	期限	備考
<input type="checkbox"/>	1	10005508	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	2	10003010	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	3	10009803	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	4	10006512	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	5	10007805	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	6	10002817	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	7	10008231	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	8	10009866	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	9	10001139	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	10	10002264	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	11	10000438	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	12	10004160	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	13	10001333	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	14	10005462	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	15	10000735	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	16	10004367	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	17	10006921	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	18	10005786	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	19	10003029	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	20	10008994	1000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	21	10006528	1000.0	2015/10	2016/03	

1000 2000 3000 4000 5000 更新

⑤他のポイント枠を確認する場合

例:設定ポイント 5000 の場合

設定ポイント 5000のタブを選択してください。

プレイングタイマープリペイド利用者番号管理ツール システムA

テキスト出力 ポイント変更 備考変更 コピー日付 2016年 2月 5日 戻る

プリペイド開始月 1月 2016年 2月 5日 プリペイド期間 6ヶ月

済	No.	利用者番号	ポイント	開始	期限	備考
<input type="checkbox"/>	1	50001839	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	2	50005664	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	3	50000238	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	4	50004860	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	5	50006133	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	6	50005262	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	7	50003435	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	8	50008167	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	9	50006321	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	10	50007496	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	11	50003729	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	12	50008394	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	13	50009928	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	14	50007790	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	15	50002023	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	16	50000992	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	17	50009525	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	18	50001097	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	19	50005851	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	20	50000546	5000.0	2015/10	2016/03	
<input type="checkbox"/>	21	50004859	5000.0	2015/10	2016/03	

1000 2000 3000 4000 5000 更新

25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

- ⑥ポイントを変更する場合、変更したい利用者番号を選択し「ポイント変更」を押してください。利用者のポイント情報は装置側が管理しています。ポイントを変更するためには、SDカードを操作盤のタッチパネルに装着し、プリペイド情報読出をおこない最新のポイント情報を使用してください。「利用者ポイント情報の保存」(60ページ参照)



- ⑦ポイント変更画面が表示されますので、新しいポイントを入力し設定を押してください。ポイントは、任意の0~9999の数値になります。小数点以下は、入力することができませんのでご注意ください。



- ⑧新しいポイントが設定されます。

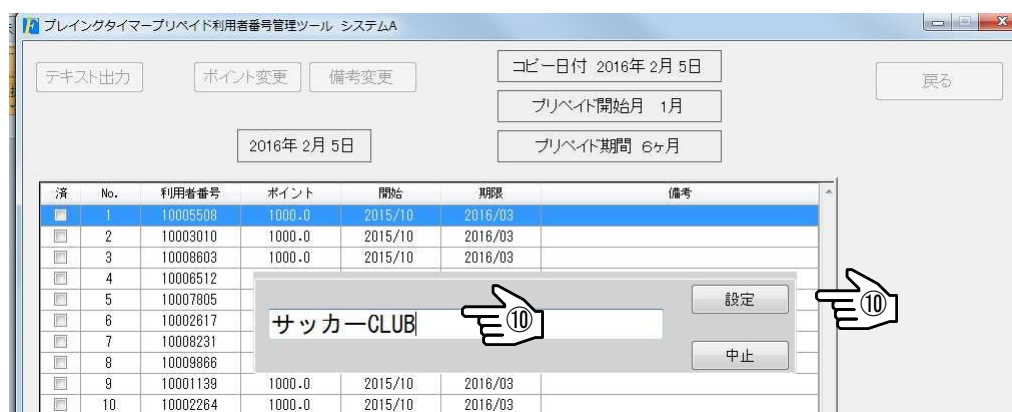


25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

⑨備考を変更する場合、変更したい利用者番号を選択し「備考変更」を押してください。



⑩備考変更画面が表示されますので、備考を入力し設定を押してください。



⑪備考が設定されます。



25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

⑫発行済の利用者番号を識別したい場合、利用者番号にチェックを入れることができます。



⑬識別したい利用者番号の「済」をクリックしてください。

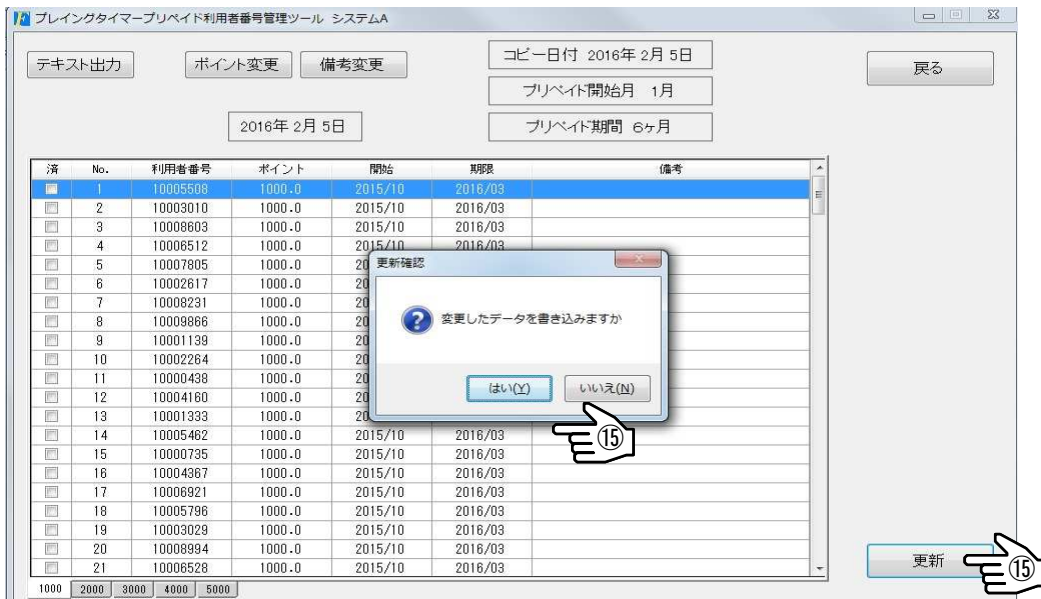


⑭識別を解除したい場合は、解除したい利用者番号の「済」をクリックしてください。

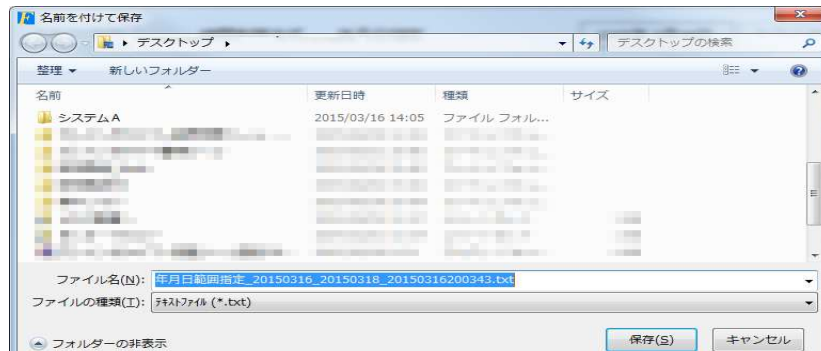


25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

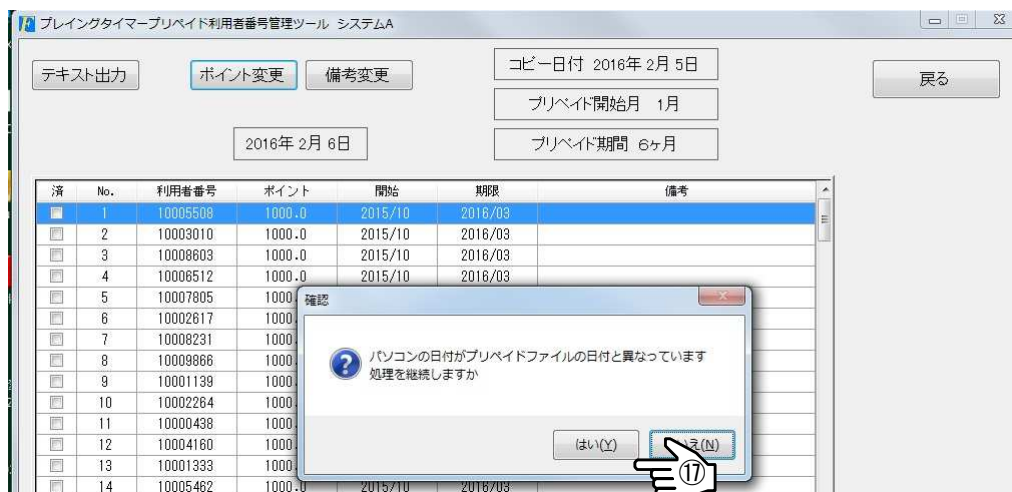
- ⑮利用者情報を変更した場合、「更新」を押して保存してください。
確認メッセージが表示されるので、よろしければ「はい」を押してください。



- ⑯利用者番号をテキストファイルに出力できます。
メモ帳やエクセルを利用して利用者番号の確認や印刷ができます。
保存先、ファイル名を変更できます。



- ⑰利用者のポイント情報・備考・識別情報を編集する場合、装置側の情報の読出をおこなった日付と管理者用PCの日付が異なっている場合に確認メッセージが表示されます。この場合、装置側の最新のポイント情報と異なっている可能性があります。継続して編集を実行する場合は「はい」を押してください。

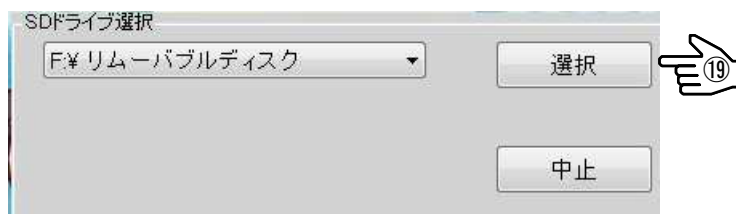


25 プリペイド利用者番号管理(つづき)

⑱変更した利用者のポイント情報を反映する場合、「SDカードへ書込」を押してください。



⑲SDカード選択画面が表示されます。
変更したい利用者のポイント情報が保存されたSDカードを選択してください。




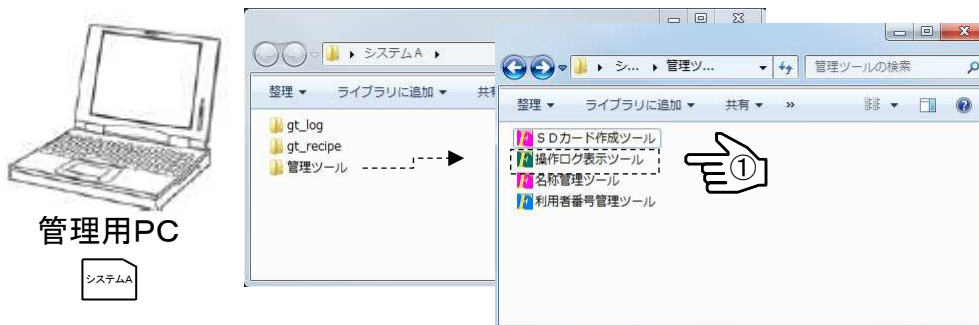
⑳確認メッセージが表示されるので、よろしければ「はい」を押してください。



26 利用履歴管理

■ 利用履歴管理の操作方法

- ① 管理者用PCのデスクトップのフォルダ「システムA」を開いてください。
フォルダ「管理ツール」内  操作ログ管理ツール をダブルクリックし、起動してください。

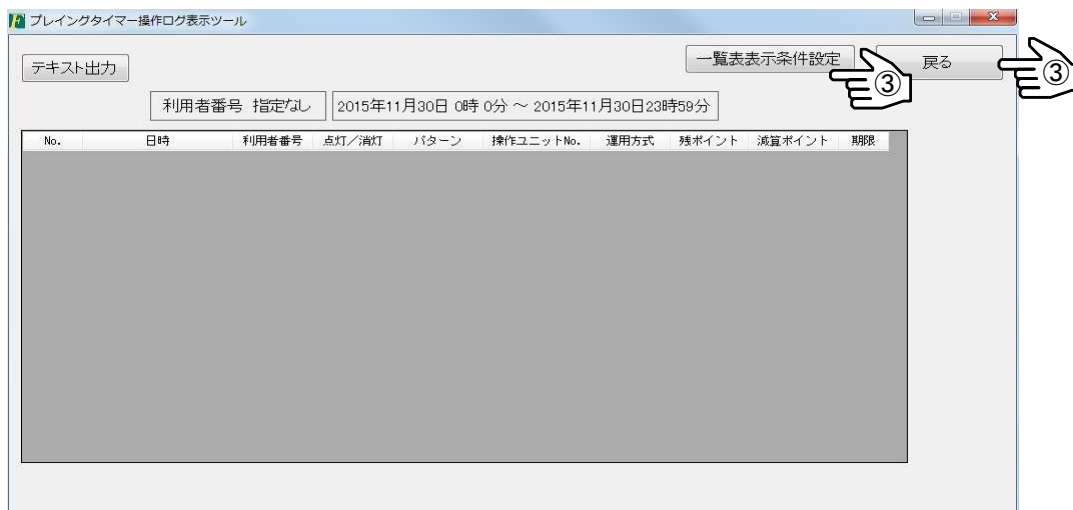


- ② 操作ログ管理ツールのトップページが表示されます。
管理ツール終了するときには、「終了」を押してください。
操作ログ情報は装置側が管理しています。最新の操作ログを確認するためには、SDカードを操作盤のタッチパネルに装着し、ログデータ読出をおこない最新の操作ログ情報を使用してください。「ログファイル保存手順」(61ページ参照)



③ 利用履歴の確認

「表示開始」を押すと、操作ログ表示画面が表示されます。
利用者番号一覧を表示するときは、「一覧表示条件設定」を押してください。
番号表示を終了するときには、「戻る」を押すとトップページに戻ります。



26 利用履歴管理(つづき)

④検索条件入力

「一覧表示条件設定」を押して、利用履歴の検索条件を入力してください。



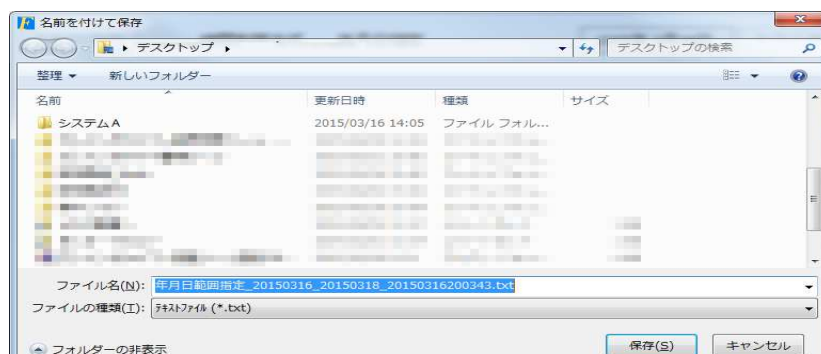
⑤利用履歴表示とテキスト出力

利用履歴が表示されます。テキストファイルとして保存する場合は「テキスト出力」を押してください。



⑥利用履歴をテキストファイルに出力できます。

メモ帳やエクセルを利用して利用履歴の確認や印刷ができます。
保存先、ファイル名を変更できます。



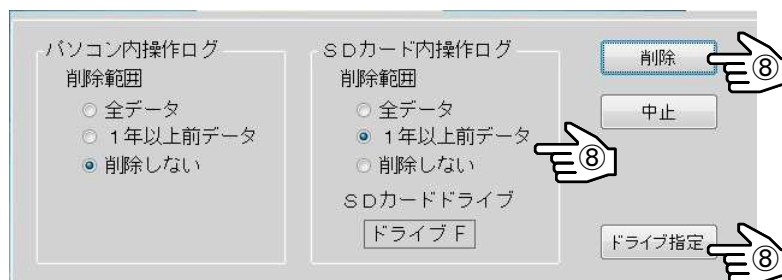
26 利用履歴管理(つづき)

⑦操作ログの削除

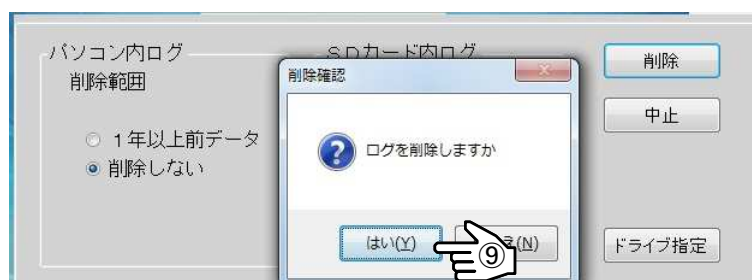
管理用PC内、SDカード内の操作ログの削除をする場合は「ログ削除」を押してください。



⑧削除したい操作ログの範囲を指定して、「削除」を押してください。
SDカード内の操作ログを削除する場合は、SDカードドライブの指定をしてください。



⑨確認メッセージが表示されるので、よろしければ「はい」を押してください。



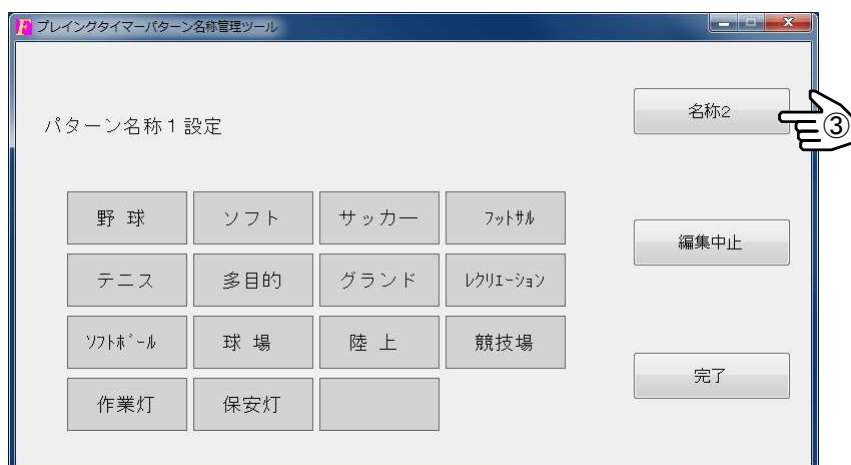
27 パターン名称管理

■ パターン名称管理の操作方法

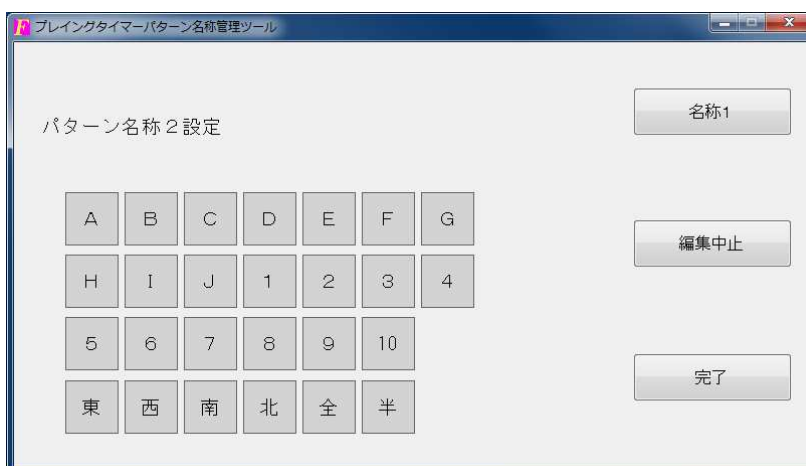
- ①SDカード内の **名称管理ツール** をダブルクリックし、起動してください。
 管理用PC内の名称管理ツールを起動しても、システムに書き込むことができません。
 必ずSDカード内の名称管理ツールを起動してください。



- ②パターン名称1を変更することができます。




- ③パターン名称2を変更することができます。



- ④変更を反映するためには、SDカードを操作盤のタッチパネルに装着し、パターン名称書込を行ってください。「SDカード操作 パターン名称書込」(37ページ参照)

28 SDカード作成

■SDカード作成の操作方法

- ①管理者用PCのデスクトップのフォルダ「システムA」を開いてください。
フォルダ「管理ツール」内の  SDカード作成ツール をダブルクリックし、起動してください。
SDカード上に管理者用PCのデスクトップのフォルダ「システムA」を元にしたSDカードを作成する場合、「SDカード作成」を押してください。



- ②SDカード選択画面が表示されます。
作成したいSDカードが挿入されたSDドライブを選択してください。



- ③確認メッセージが表示されるので、よろしければ「はい」を押してください。



SDカード作成時には、SDカード内のデータは一度消去されますのでご注意ください。

29 異常時の処置(エラーコード表)

通常操作時のエラー

エラー表示	エラー内容・原因	処 置
E001 (エラー1)	<u>利用者番号が、当日使える番号でない</u> ・利用日時の間違い ・利用者番号の入力間違い	もう一度、正しい利用者番号で入力してください 数回繰り返してもエラーが発生する場合は、 管理者にご確認ください。
E002 (エラー2)	<u>利用される照明パターンが使用中</u> ・利用日時の間違い ・利用者番号の入力間違い	もう一度、正しい利用者番号入力してください。 数回繰り返してもエラーが発生する場合は、 管理者にご確認ください。
E003 (エラー3)	<u>利用される照明パターンが強制点灯中</u> ・管理者による強制点灯中	強制消灯するまで使用できません。 管理者にご確認ください。
E004 (エラー4)	<u>利用できる時間が過ぎている</u> ・当日利用できる番号であるが、利用できる 時間帯を経過しています。	利用時間帯に合った利用者番号を管理者に ご確認ください。
E005 (エラー5) ※ポイント制限機能が 有効な場合のみ	<u>ポイント残高が不足していて利用できない</u> ・ポイント残高が0点	ポイント利用できる管理者番号を管理者に ご確認ください。
E006 (エラー6) ※操作画面にはE001で 表示されます。	<u>利用者番号が、使える番号でない</u> ・利用者番号の入力間違い	もう一度、正しい利用者番号で入力してください 数回繰り返してもエラーが発生する場合は、 管理者にご確認ください。
E008 (エラー8)	<u>操作部のタッチパネルの電池が容量が低下 しています。</u>	管理者にご連絡ください。

29 異常時の処置(エラーコード表) (つづき)

設定操作時のエラー

エラー表示	エラー内容・原因	処 置
E041(エラー-041)	パターン点灯中操作異常	点灯しているパターンを終了させてください。
E042(エラー-042)	SDカード取り出しエラー	SDカードに異常があります。 新しいSDカードを準備ください。
E043(エラー-043)	SDカード読出し挿入エラー	SDカードに異常があります。 新しいSDカードを準備ください。
E044(エラー-044)	SDカード取り出し未挿入エラー	システム用のSDカード挿入してください。
E045(エラー-045)	SDカード動作エラー	SDカードに異常があります。 新しいSDカードを準備ください。
E046(エラー-046)	SDカード操作未挿入エラー	システム用のSDカード挿入してください。
E047(エラー-047)	SDカード空き容量少検出エラー	新しいSDカードを準備してください。
E048(エラー-048)	SDカード初期化時未挿入エラー	システム用のSDカード挿入してください。

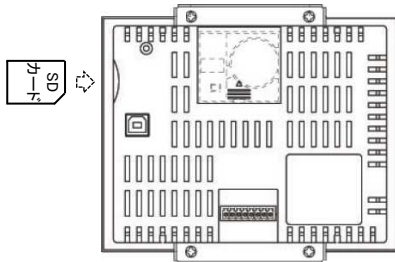
29 異常時の処置(エラーコード表) (つづき)

タッチパネルのエラー

エラー表示	エラー内容・原因	処 置
**1000	SDカードが挿入されていません	システム用のSDカード挿入してください。
**1001	SDカード書き込み時エラー	SDカードに書き込みできません。ライトプロテクトされていないか確認してください。
**1002	SDカード容量が足りません	SDカードの容量が一杯の為、書き込みできません。SDカード内のデータを消去するか、新しくSDカードを用意してください。
**1003	SDカード読み出し時エラー	SDカード内のデータを読み出すことができません。SDカード内に保存されているデータが壊れていないかパソコンで確認してください。
**1006	SDカード認識できません	SDカードが認識できません。ご使用のSDカードをご確認ください。
**1043	SDカード書き込みを中断しています	SDカードに書き込みを中断しました。SDカードが挿入されているかご確認ください。
**00FF	タイムアップエラーが発生しています	①PLC接続ケーブルが断線している可能性があります。接続ケーブルの配線や断線を確認してください。 ②ノイズなどによる一時的な異常です。機器の電源を再投入してください。
**E000	送信データオーバーフローが発生しています	PLCとタッチパネルとの通信データがオーバーフローしました。これによって、一部の送信データが送信されませんでした。PLCとの通信が正常であるか確認してください。

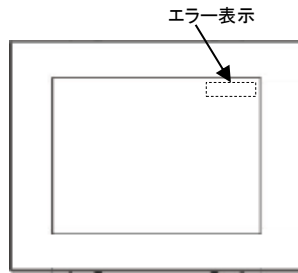
30 タッチパネルについて

■SDカード装着位置



タッチパネル背面

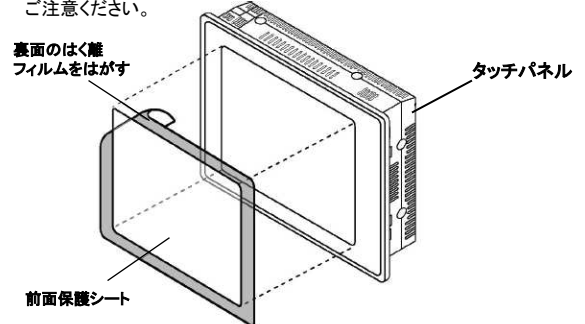
■エラー表示位置



タッチパネル前面

■保護シートの交換方法

- ①前面保護シートのはく離フィルムをはがします。
- ②前面保護シートを貼り付けます。
タッチパネルの液晶部分に合わせるように貼り付けます。
この際シートの片側から空気が入らないように貼り付けてください。
空気が入った場合は、指で外に追い出してください。
強く押さえつくとタッチスイッチが故障する原因となりますので、
ご注意ください。



31 停電時の扱い

- ・利用中に停電になった場合、復電後は電源投入時の状態となります。（照明は点灯しません）
- ・利用実績は、点灯開始から停電までの間となります。
（ポイント制限機能が有効な場合、ポイントの減算も同様です）

32 使用期間中における部品交換の必要性

- ・この商品の内蔵部品は精密機械で構成されています。比較的寿命が短いため、ご使用期間中に部品をご購入いただき、交換していただく必要があります。部品交換の頻度は、交換部品一覧をご参照ください。
（交換部品に必要な費用は、お客様のご負担になります）
交換に際しましては、専門知識を有するサービス会社にご相談ください。

交換部品一覧(寿命年数)

- ・ソレノイド(4年)・直流電源ブロック(5年)・タッチパネル保護シート・SDカード・電池(3年)
- ・制御ブロック・タッチパネル・リレーブロック・扉キーセット・サージアブソーバ・ヒューズ(250V・2A)

33 保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年間です。電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店又は弊社営業所へお申し出ください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460 (FAX)

安全チェックシート

・下表の各項について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目			区分	点検結果	処置		
使用状況・環境	1	使用期間	10年以上である。	B		装置交換又は継続的点検	
			15年以上である。	A		装置交換	
	2	使用用途	適合負荷の操作および制御以外に使用している。	A		撤去	
		3	設置場所	振動が激しい場所である。	A		移設
				屋内用盤において、雨が当たる場所である。	A		移設
周囲温度が高い（40℃以上）	A				移設		
		特殊環境（粉塵、腐食性ガス、揮発性ガス）で使用している。	A		移設		
4	電源電圧	定格電圧の±6%の範囲外である。	B		電源調整		
装置本体・部品	1	装置取付部	装置を固定するボルト・ナットに緩み・脱落がある。	B		補修	
	2	絶縁抵抗	装置内の各充電部とアース線間で2MΩ以下である。	A		装置又は配線交換	
	3	外観確認	装置本体に変形、ひび割れ等がある。	A		装置交換	
			塗装面にふくれ・剥離等がある。又は錆びが出ている。	B		装置交換又は継続的点検	
			扉等の可動部分の動きが鈍い。	—		原因調査後装置交換または調整	
	4	内部確認	内部配線に変色・硬化・やせ等がある。	A		装置交換	
			内部配線にひび割れ・心線露出がある。	A		装置交換	
			焦げ臭いにおいがする。	A		装置交換	
			装置本体に発煙の形跡がある。	A		装置交換	
			制御回路部・端子台等に著しい変色・変形・ひび割れ・ガタツキ・破損等がある。	A		装置交換	
			ほこりの付着・堆積等がある。	B		清掃	
			電線接続部（端子台・圧着端子等）が接触不良（緩み・抜け等）を起こしている。	B		補修	
	他社の部品（スイッチ・リレー等）に交換（改造）した形跡がある。	A		装置交換			
5	動作確認	分電盤の漏電ブレーカが動作することがある。	A		装置交換		
		正常に動作しない。	—		原因調査後装置交換または調整		

【診断結果の判定】

- 区分Aの○印が1つでもあれば、調査した盤は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。チェックした項に対する処置をしてください。
 - 各分類毎に区分Bの○印が1つでもあれば、調査した盤は劣化状態が進行していることがあります。チェックした項に対する処置をしてください。
 - * 上記点検項目以外でも不具合があれば、工事店等の専門家にご相談ください。
 - * 非住宅一般用の注記文及びチェックシートは別紙ご参照ください。
- 非住宅一般用：CLX2021BA